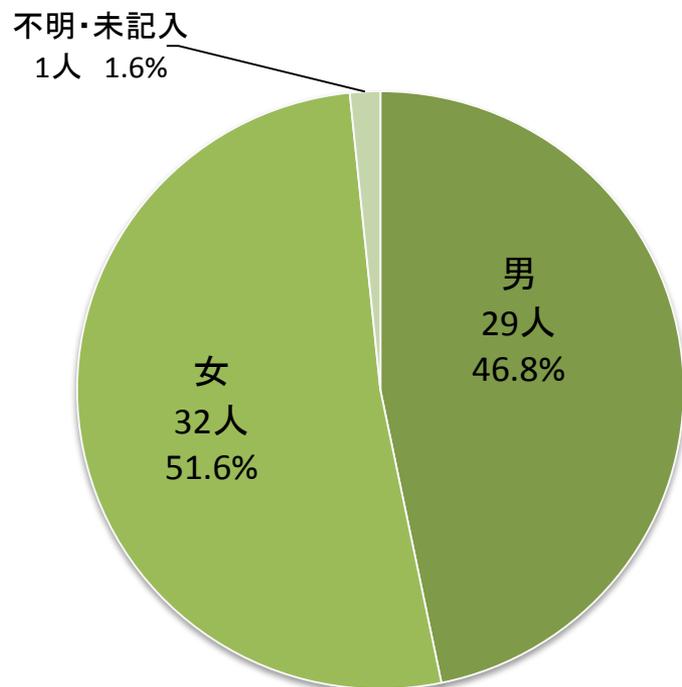


# 湘北地区

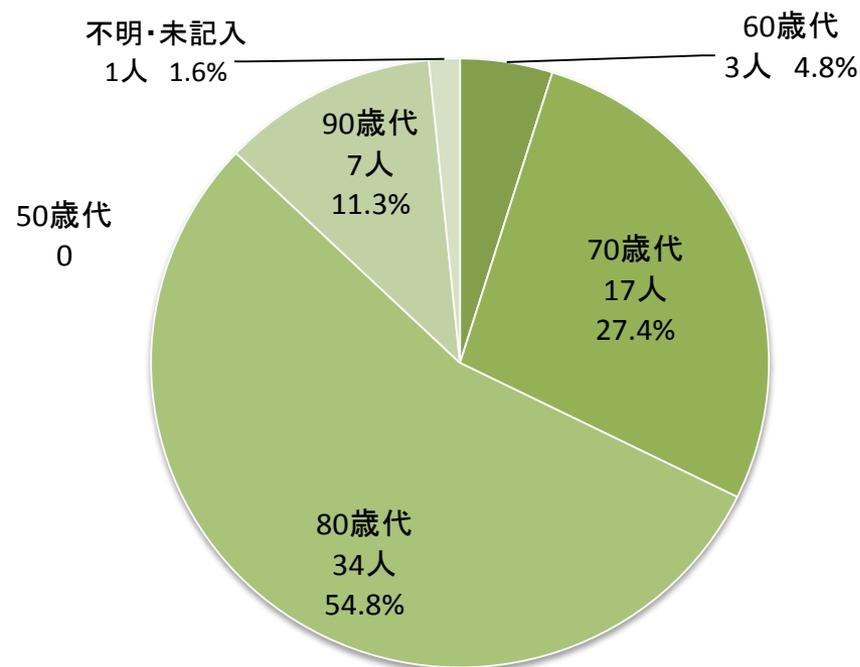
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



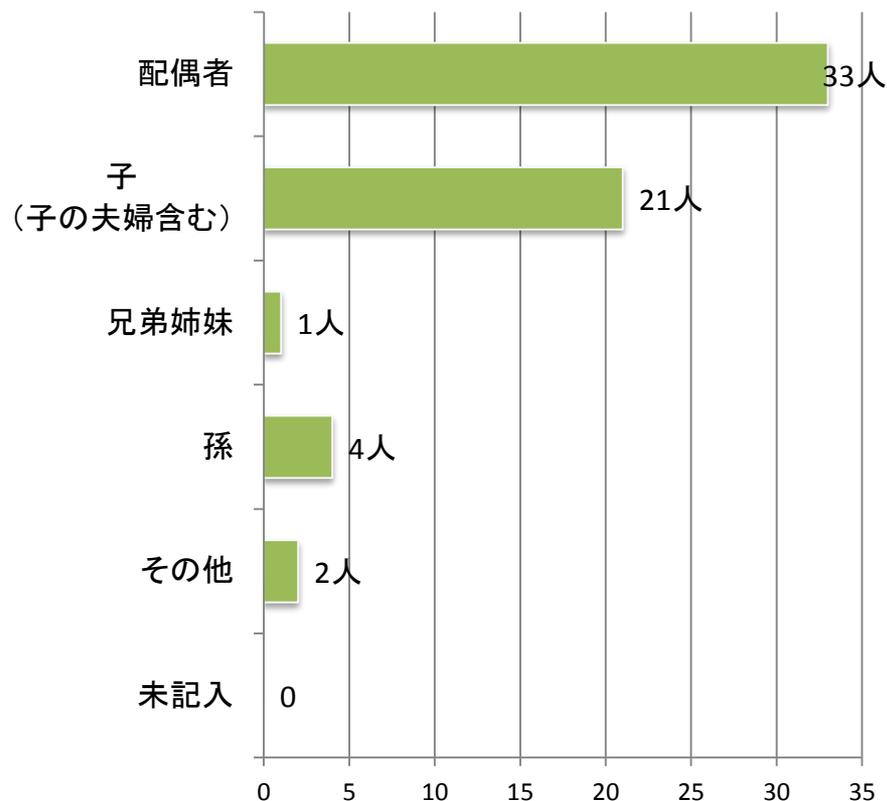
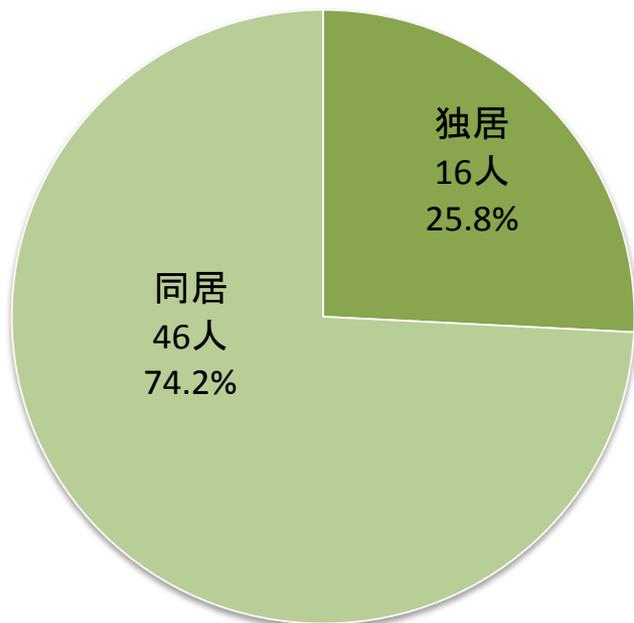
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 湘北地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 湘北地区

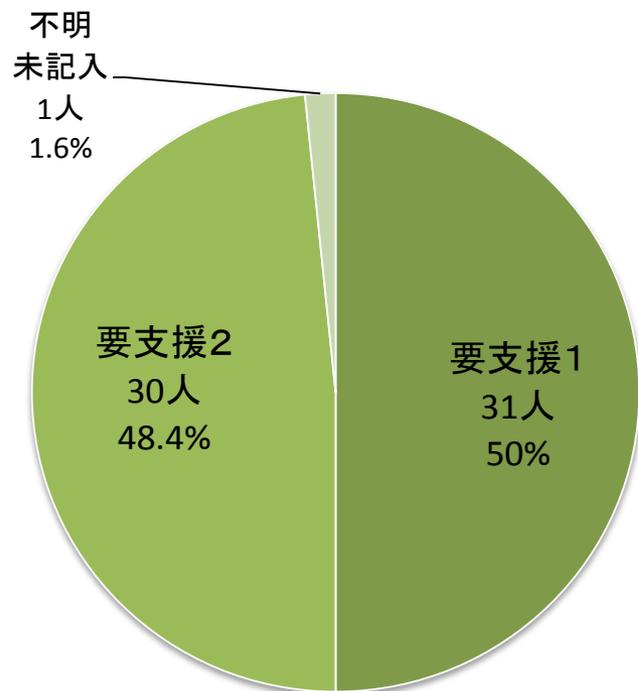
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 性別については市域とほぼ変わらぬ割合。(問2)
- 年齢については市域と比べ90代が8%低く、その分80代が多い。(問3)
- 「同居」の割合が7割を超えていて市域と変わらない。(問4)
- 市域の構成と比べると配偶者との同居が多い。(問4)

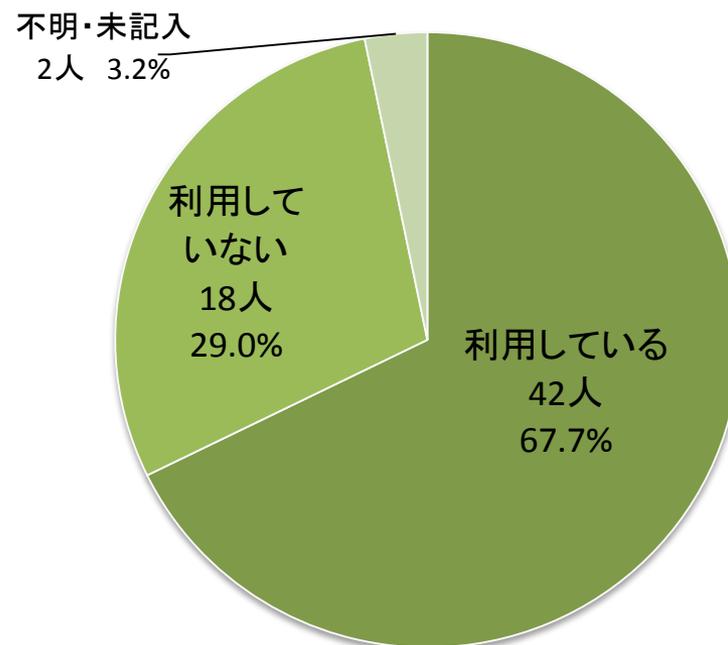
# 湘北地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



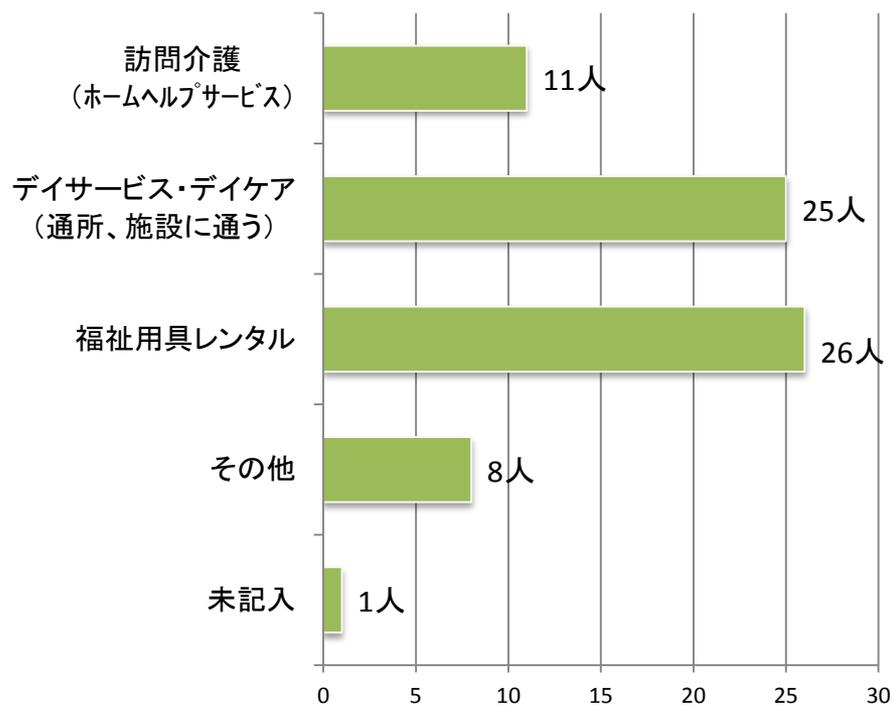
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



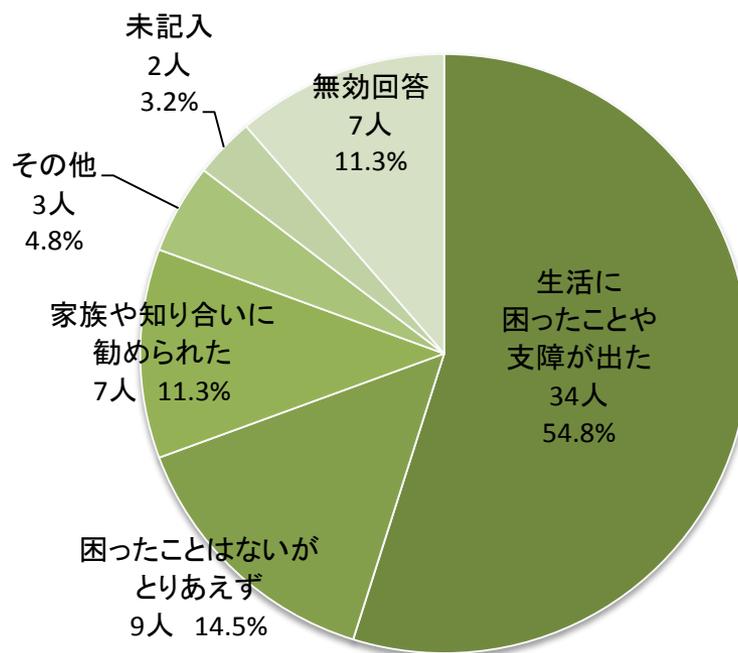
# 湘北地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 湘北地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 市域全体に比べ、介護保険サービス利用率は8%低い。(問6)
- 「訪問介護」「デイサービス・デイケア」利用がともに市域と比べると少ない。その分「福祉用具レンタル」「その他」の利用が多い。(問6-2)
- 「困ったことや支障はないがとりあえず」申請した人が市域の約倍になる。(問7)

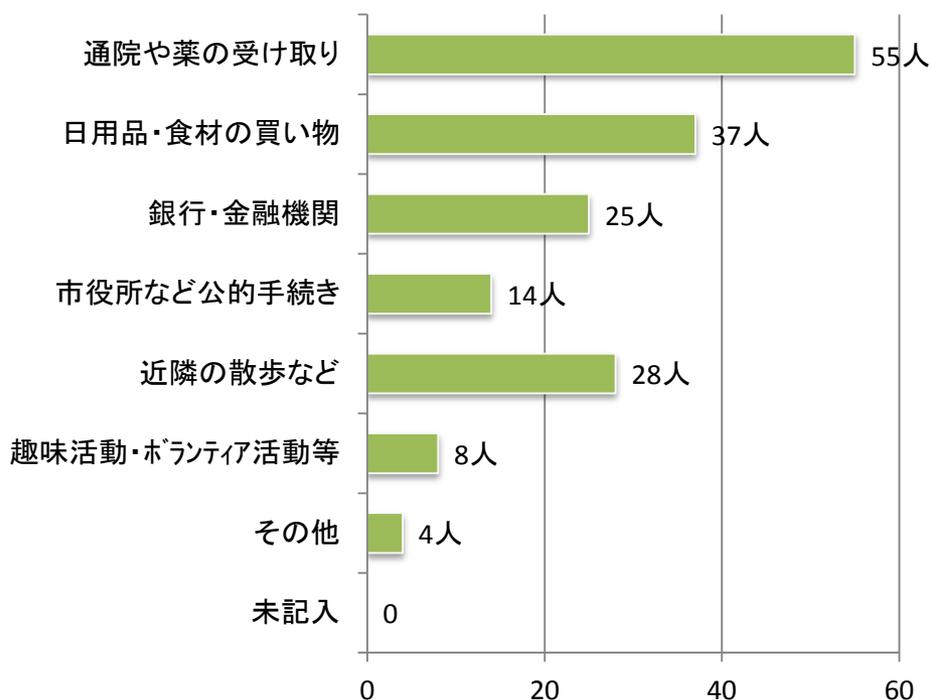
## 《考察》

「訪問介護」「デイサービス・デイケア」利用が市域の構成より少ない。その分「福祉用具レンタル」「その他」が多く、問6の結果も考慮すると比較的度が軽めとも推測できる。「困ったことや支障はないがとりあえず」申請した人が市域と比較すると倍になるので、介護認定を受けていても利用していないことと関連があると思われる。

# 湘北地区

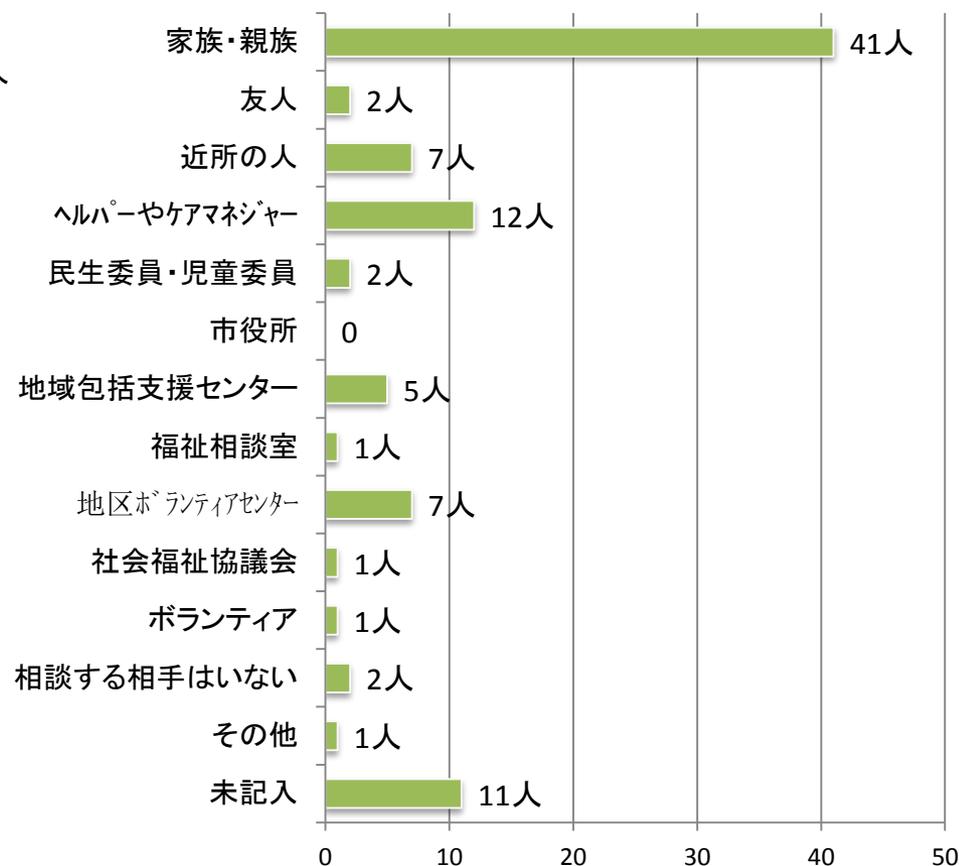
## ～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他：畑の草取り、ケアハウスの草取り、  
信仰道場

問13 外出について困ったことがある時など  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 湘北地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 市域全体と変わらず、男女比が同じ。(問8)
- 地区ボラセンの順位が高め。(問13)

### 《考察》

問13の結果により日頃より地区における知名度が高いことがうかがえる。このアンケート実施後には地区ボラセンのパンフレットを全戸配布しているので、さらなる周知が期待される。また、回答者62人、同居46人の中で40人が家族・親族に相談と回答。まずは家族・親族に相談できる状況にあることが見える。

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計29)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	16
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計29)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	20
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計52)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		2
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		12
7 タクシー		13
8 福祉タクシー		2
9 その他		2
未記入		0

④大変な理由 (計55)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	16
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計19)	未記入	0
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 通院薬取りについては「月に1～2回」で「午前中」、「タクシー」「家族の運転する車」「徒歩」での移動が多い。
- 「一人で行かれない」場合、ほぼ「家族」に頼んでいる。

# 湘北地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計35)	1 週に4回以上	6
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	10
	4 月に1～2回	8
	5 その他	1
	未記入	5
	無効回答	0
②主な時間帯 (計35)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	19
	3 午後	13
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計56)	1 徒歩	17
	2 自転車	5
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	7
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	14
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計69)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	18
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計21)	未記入	3
	1 家族	17
	2 友人	1
	3 近所の人	2
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 買い物については「週に1回」以上の頻度が多く、「午前中」が多い。交通手段は「徒歩」に次いで「家族の運転する車」が多い。地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 「一人で行かれない場合」、ほぼ「家族」に頼んでいる。

# 湘北地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計20)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	4
	4 月に1～2回	13
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計20)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計38)	1 徒歩	12
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	2
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計35)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計8)	未記入	0
	1 家族	6
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

- 銀行については、「月に1～2回」の頻度が多く「午前中」が多い。交通手段は「徒歩」に次いで「タクシー」「バス」が多い。他の外出先と違い「家族等の運転する車」が少ない。

# 湘北地区

## 《全体考察》

- 家族構成については、市域と比べ配偶者との同居が多いため、生活に不自由を感じることもお互いが支え合うことで解決し生活出来ていると想定できるが、今後死別等によりこの層が独居になった際の支援を検討する必要がある。
- 利用しているサービスでは福祉用具のレンタルが多い。次いでデイサービスの利用が多いため、外出先として地区内のミニデイ・サロンを情報提供することも可能だと考えられる。
- 外出に関する相談先に「地区ボランティアセンター」が上位にあるが、実際の地区ボランティアセンターの活動実績と比較して、今後の外出支援の取り組み方の検討も可能だと考えられる。

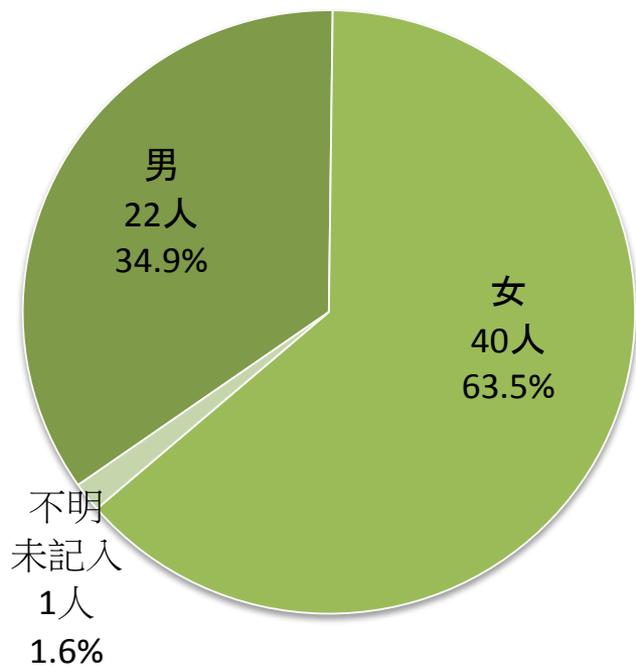


# 小和田地区

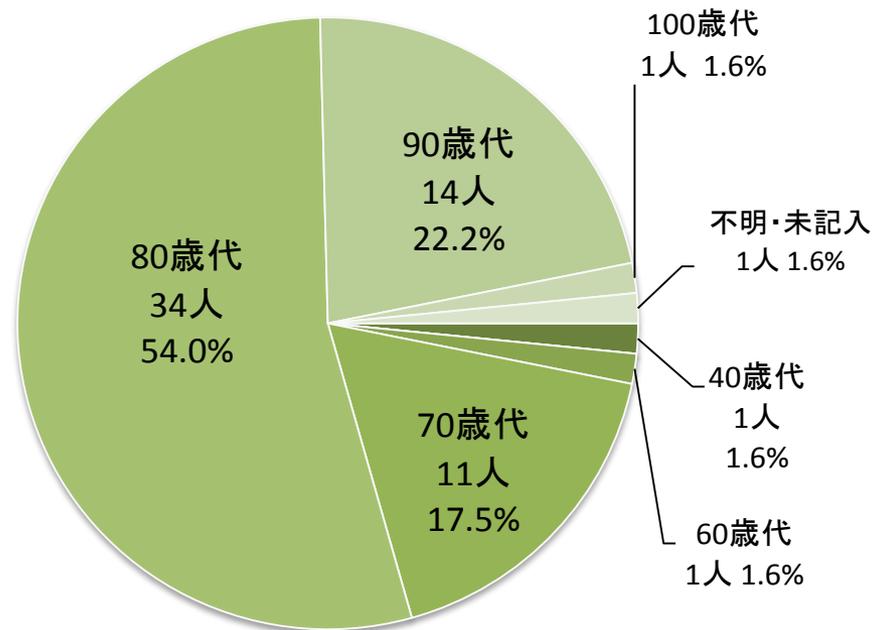
【回答数：63人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



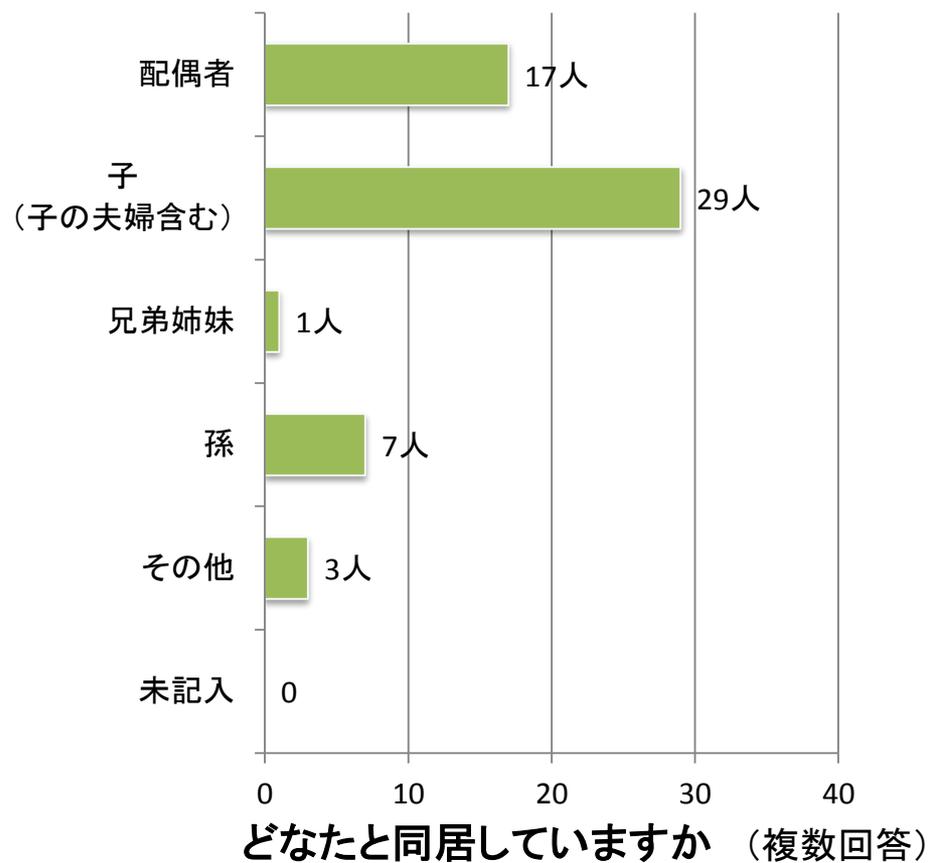
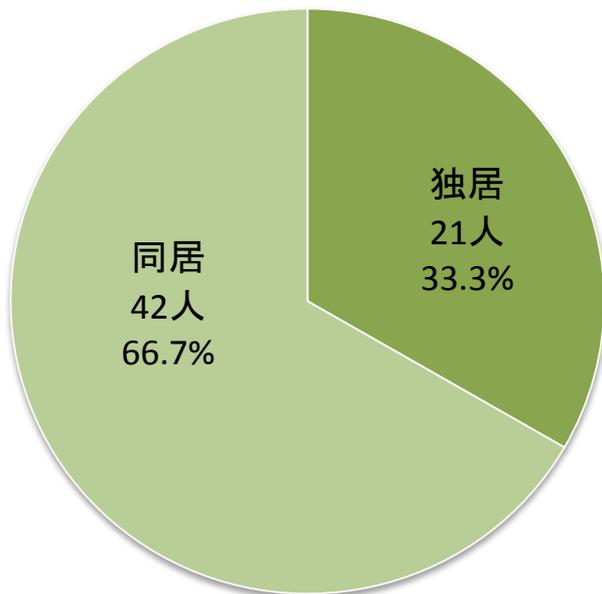
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 小和田地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



# 小和田地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 回答者の性別は市全域に比べ女性の割合がやや高い(8.8%)。(問2)
- 年齢構成は、市全域に比べて80代、90代が高くなっている。(問3)
- 「独居」の人が市全域に比べ約6%高くなっている。(問4)
- 市域の順位とは逆で、「子」との同居が「配偶者」よりも多い。「孫」との同居もやや多くなっている。(問4)

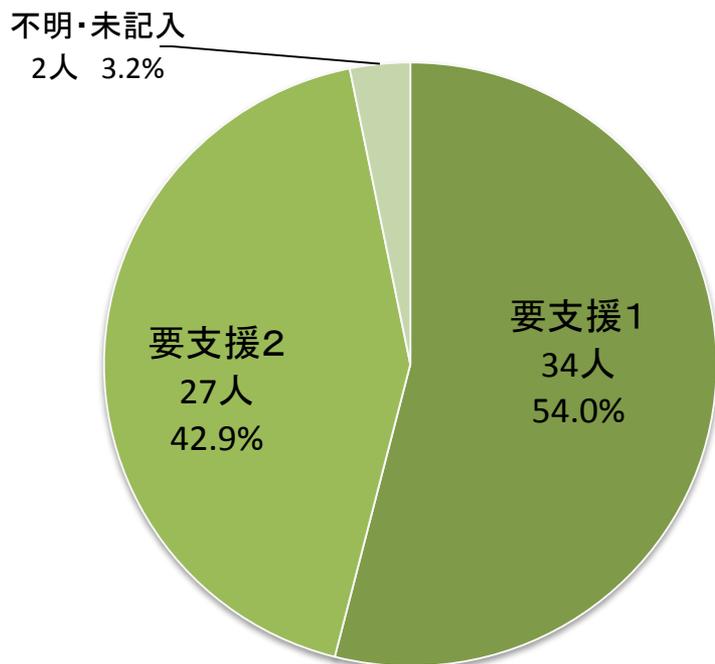
## 《考察》

- 従来からの戸建が多く、元々は夫婦、子の世帯構成であったが、子が独立し配偶者が亡くなり独居となった人が多いと推測される。
- 子や孫との同居が高くなっているのは、駅への利便性等による生活環境の良さによるものと推測される。

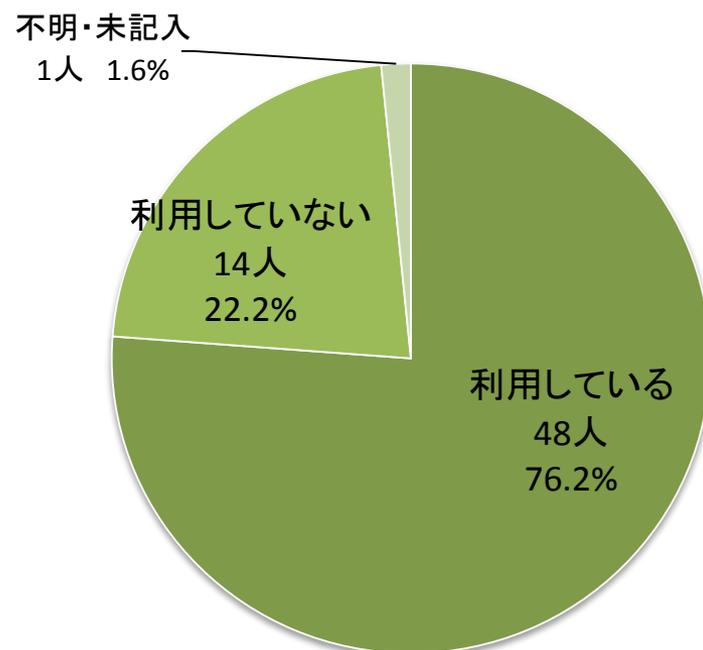
# 小和田地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



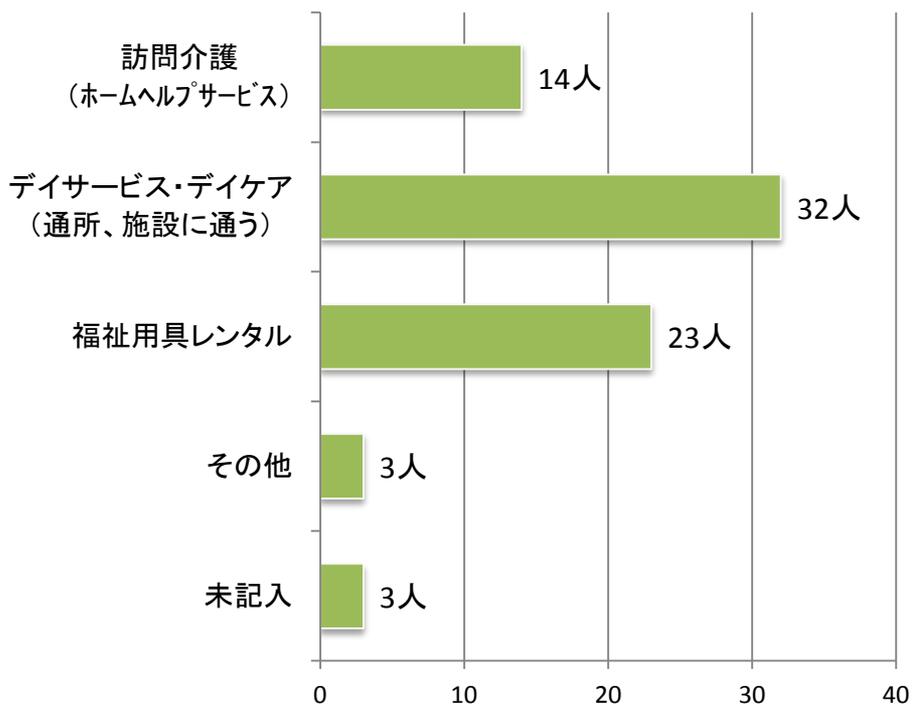
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



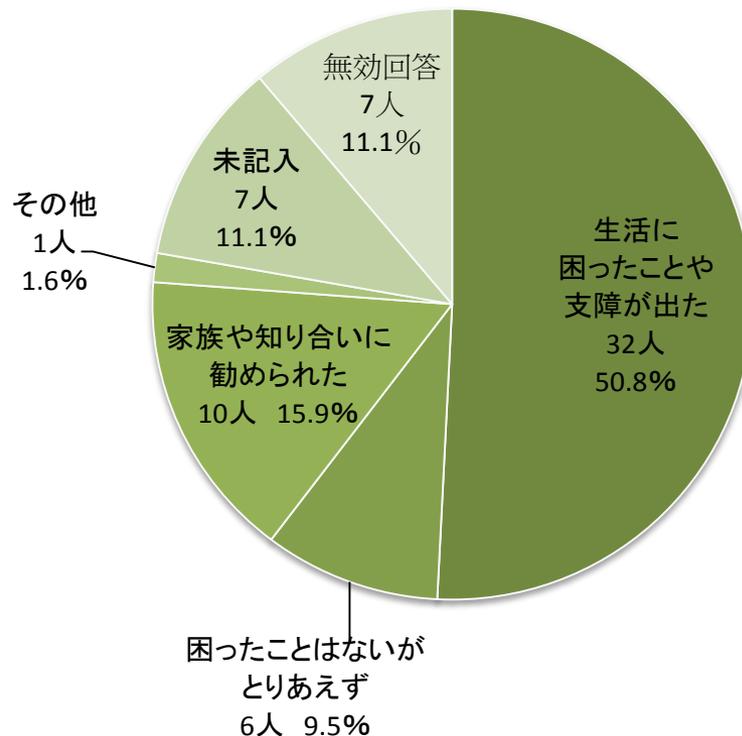
# 小和田地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 小和田地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定は要支援1の方が多くなっている。(問5)
- サービスの利用の有無、利用しているサービス、介護保険の申請の理由については市全域と比較して変わりがない。(問6・問6-2・問7)
- 申請理由の「困っていないがとりあえず」については、不安感から来るものかと思われる。(問7)

## 《考察》

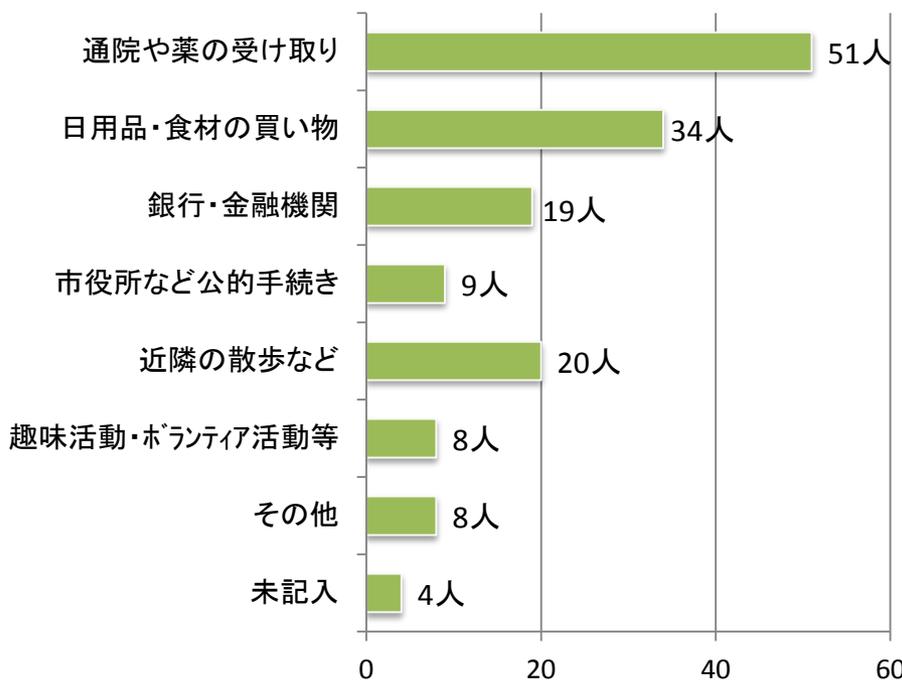
- 申請理由で「生活するのに困ったことや支障がある」との回答が51%あるが、実際のサービス利用は訪問系より通い系のサービスが多く、予防に対する意識が高い事がうかがえる。
- 予防に対する意識は地区内各所で行われている体操系のサロンやポールウォーキングなどからもうかがえる。

# 小和田地区

## ～外出関連～

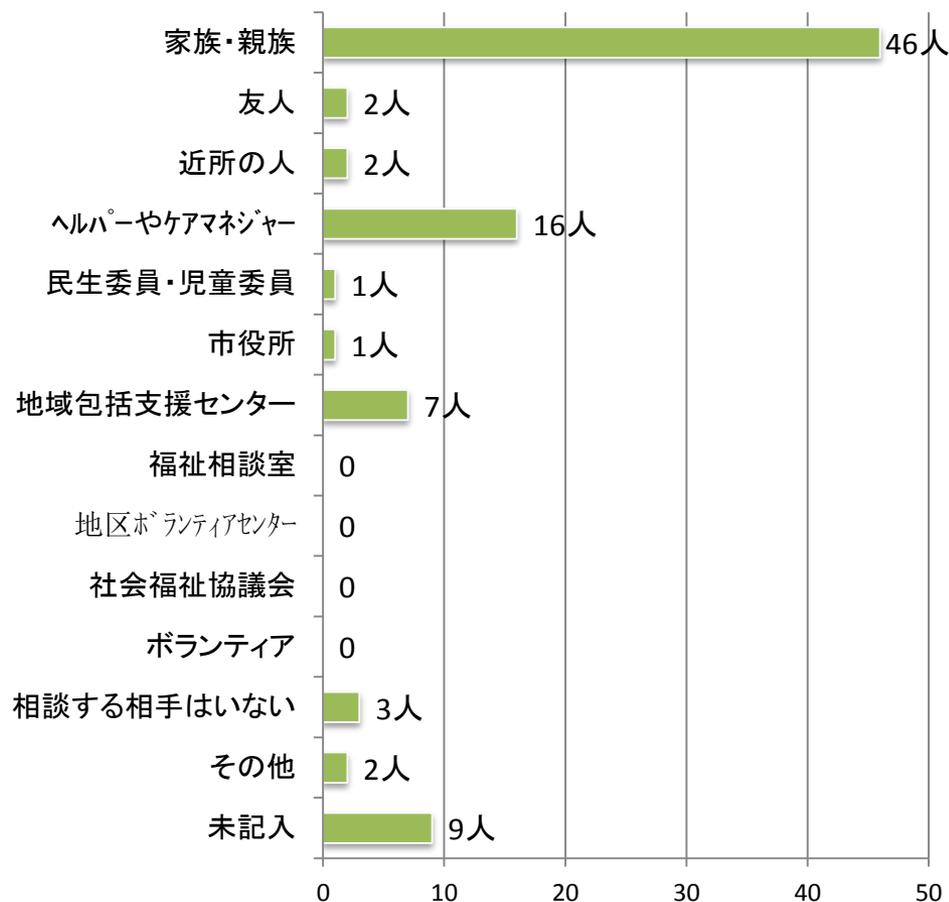
### 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他: うた体操、体操教室、ポスト  
デイサービス、リハビリ等

### 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 小和田地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 良く出かけるところとしては、市全域の回答と差はない。(問8)
- 相談先については市全域と全体的な順位は変わらないが、「家族・親族」「ヘルパーやケアマネジャー」や「地域包括支援センター」の回答が多く、「友人」や「近所の人」の回答が少なくなっている。(問13)

## 《考察》

- 相談先としてヘルパーやケアマネジャーが多いのは、この地区にやや多い独居の人の相談窓口となっている事が考えられる。また、地域包括支援センターも地区のサロンやイベント時に参加をしていることから身近な存在となっている。「社会福祉協議会」など0のところについては、今後の相談窓口としての周知をしていく必要がある。

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	6
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	21
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝（8時以前）	3
	2 午前中	23
	3 午後	6
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計47)	1 徒歩
2 自転車		0
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		14
7 タクシー		11
8 福祉タクシー		0
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計62)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	5
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	21
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計23)	未記入	1
	1 家族	18
	2 友人	2
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、病院の定期的な予約通院と考えられる。また、移動手段については予約などで日時があらかじめ確定している事もあり、「タクシー」の割合が多くなっている。週に1回～数回の人と比較的徒歩圏内の医院の通院と思われ、その選択が「徒歩」に出ていると推察される。
- 大変な理由の1位「体がきつい」と2位「一人では行かないので付添が必要」の回答数にほぼ差がない事が注目される。同様の結果は後に出てくる【銀行・金融機関】の外出にも見られるが、手続き等が不安ということがあると思われる。

# 小和田地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計28)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	13
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	6
	5 その他	1
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計28)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	11
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計42)	1 徒歩	15
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	1

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	4
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	1
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 日常的な外出行動のため「週に2～3回」が多く、1週間に1回は外出する方が7割を超える。通院と違い「午後」にも外出があるのは、徒歩圏内のスーパー等（エスパティオ、やまか等）の夕方のセールに合わせてのものと考えらえる。コンビニも地区内に数軒あり、徒歩圏として活用されている可能性が高い。

# 小和田地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計24)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	15
	5 その他	1
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計24)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計35)	1 徒歩	11
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計40)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	2
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

- 地区内にある金融機関は郵便局とさがみ農協の2軒だけになる。他は辻堂駅前に行かなくてはならない。辻堂駅前も地区が接する北口はテラスモール内に1店舗あるが、他の6店舗は南口になる。
- 交通手段から見ると、「徒歩」については地区内の金融機関の利用、「タクシー」などは駅前の金融機関の利用が考えられる。金融機関については、一度開設すると変更することなく使う事が多く、月に数回だが不便があると思われる。

# 小和田地区

## 《全体考察》

- 外出に関しては、東小和田の交差点を起点に小和田通り、赤松通りに様々な資源が集まり便利ではある。一方で、国道一号線は「渡るのが怖い」との声もあり、地区南北の心理的境界にもなっている傾向がある。地区行事については国道北側と南側の会場持ち回りや、その区間の移動手段の検討が必要である。地区内の施設で場所や送迎車を貸してくれるとの情報もある。
- 訪問介護はサービス付き高齢者住宅に併設の事業所が中心となっている。通い系サービスはエリア内(一部松林地区含む)に複数あり充足感があるが、地域包括支援センターには「デイサービス以外にも健康のため体を動かしたい」との相談もあるそうで、ラジオ体操や運動系のサロンにも需要があるのではないか。
- 地域包括支援センターには「荷物が持てないので歩行器を借りたい」という相談もあるそう。  
介護保険の申請には該当しないが、こうした困りごとからは「買物の荷物を持つ」、「配達してくれる」等の店舗情報やサービスの充実が必要と思われる。
- 小和田地区は、高齢化率は市内で一番低いが、子育て世代と高齢世代の二極化という面があり、全体に若いという訳ではない。この事は様々な相談を受けている地域包括支援センターや福祉相談室からも実感として挙がっている。また、2010年以降の開発事業に伴い、  
マンションや公共的施設、サービス付き高齢者住宅の新築など辻堂駅前を中心に大きく変わってきている。土地の売却による分割も多く、地区人口も増えている。今後も小和田3丁目の市営住宅移転など、しばらく変化が続く。

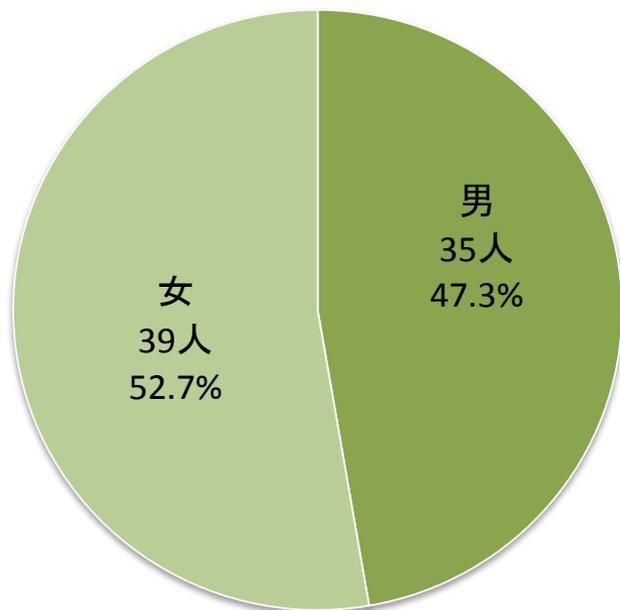


# 松浪地区

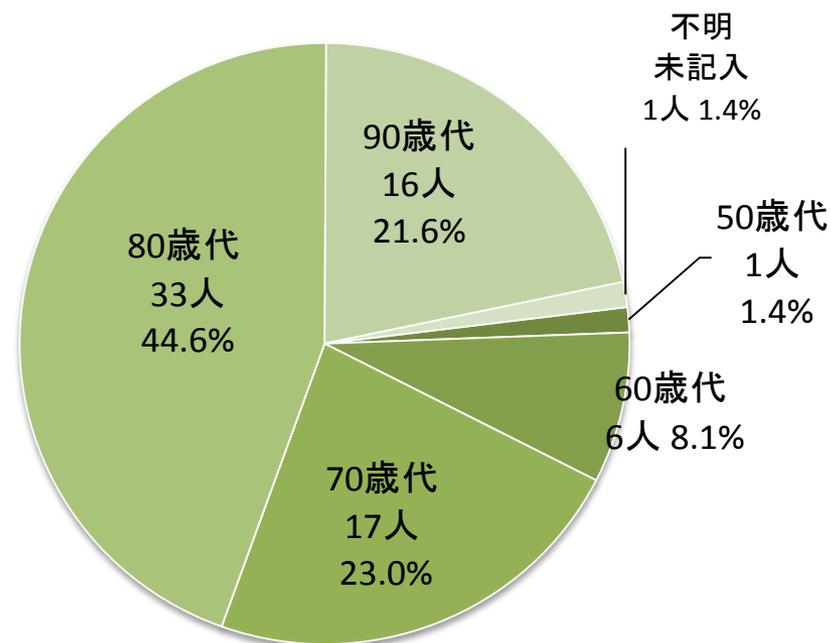
【回答数：74人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



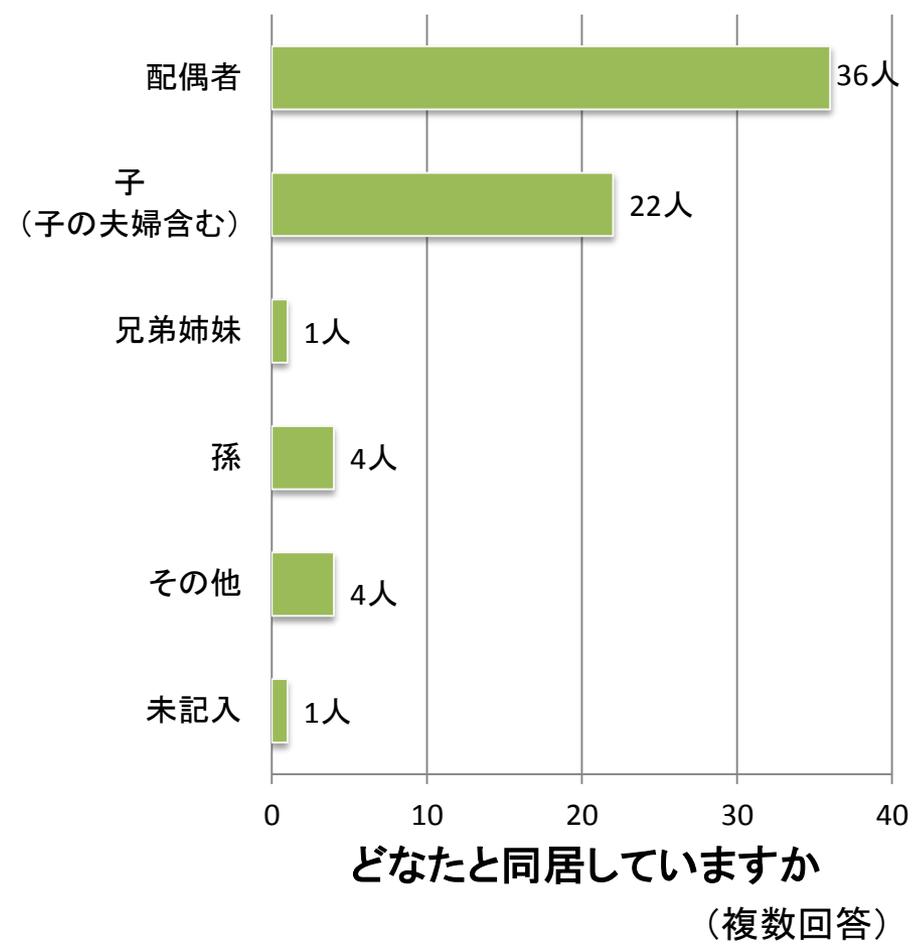
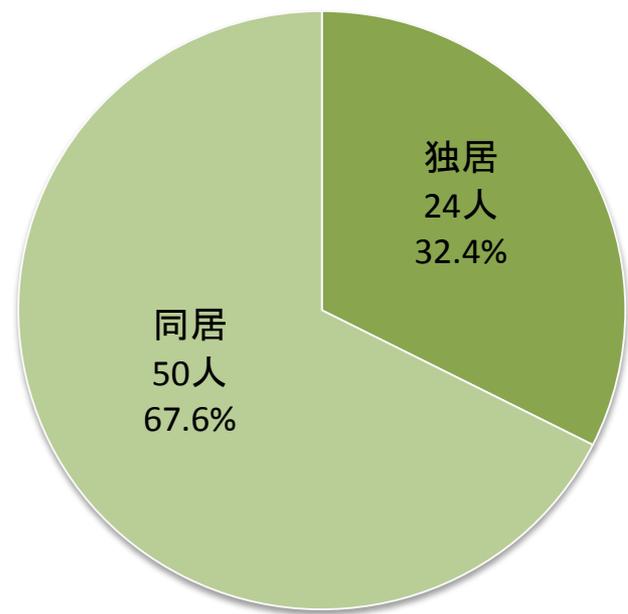
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 松浪地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



# 松浪地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 年齢構成は市域と大きな差はないが、80歳代の割合がやや低く、90歳代の割合がやや高い。(問3)
- 「独居」の割合は市域よりやや高い傾向にある。(問4)
- 誰と同居しているかについては、比率にして市域構成と比較してみると、「配偶者」がやや多く「子」との同居がやや少ない。(問4)

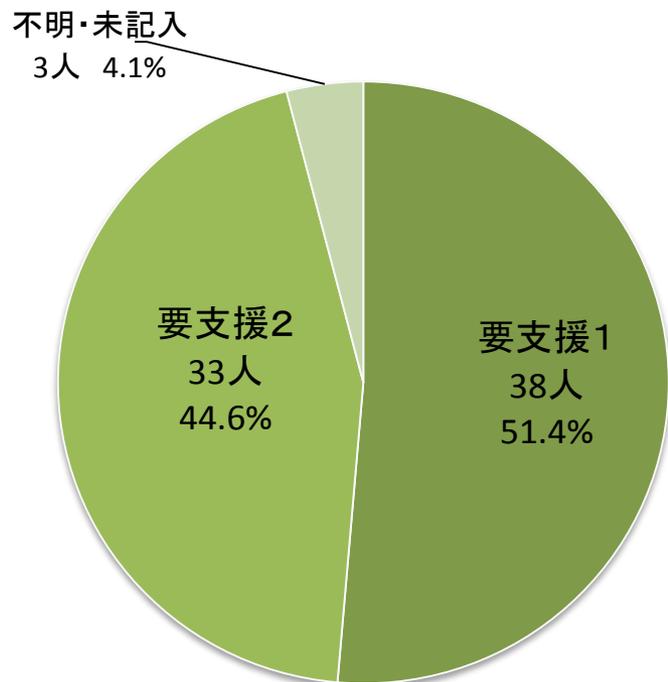
## 《考察》

市域と比較して90歳代の割合がやや高いこと、独居の割合がやや高いこと、子との同居がやや少ないことは、後の回答に影響しているものと考えられる。

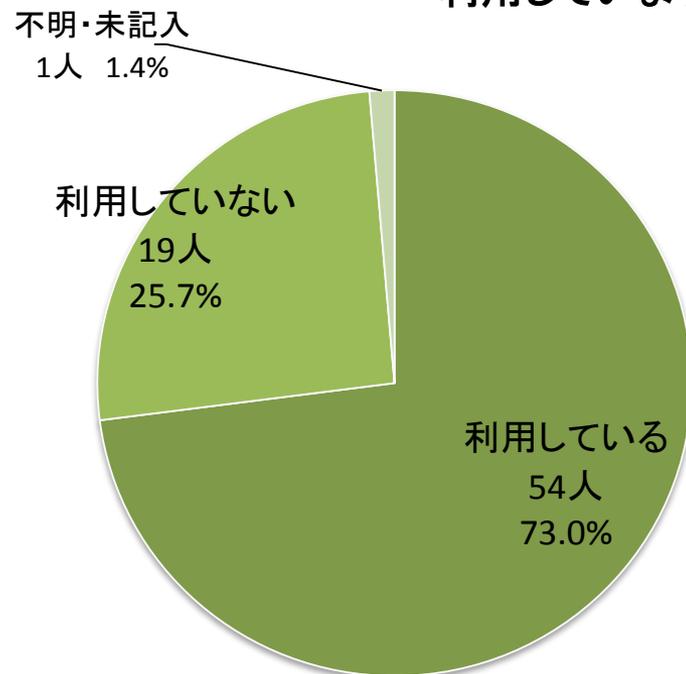
# 松浪地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



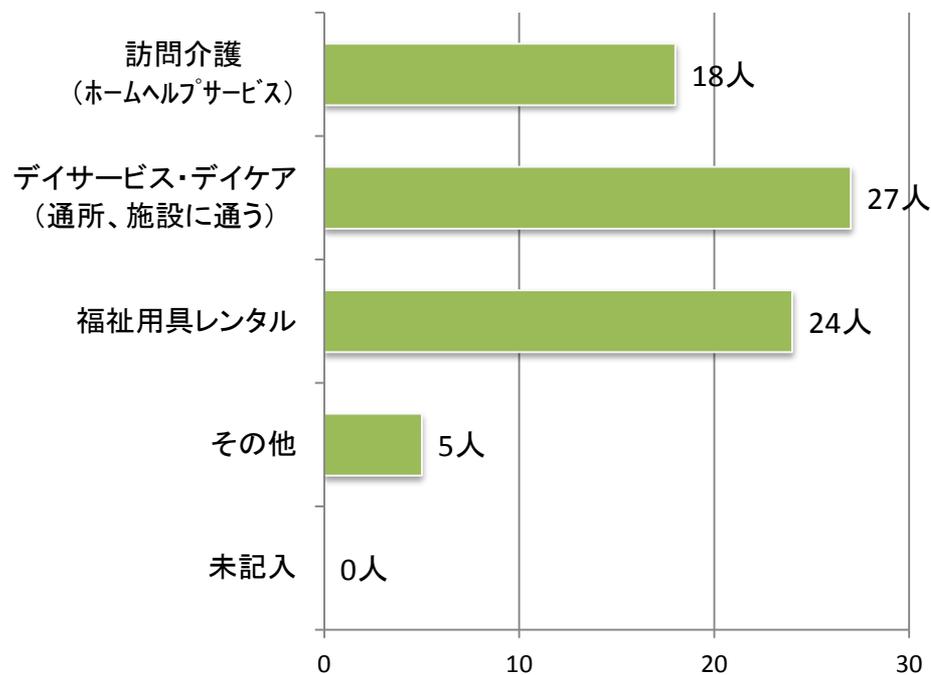
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



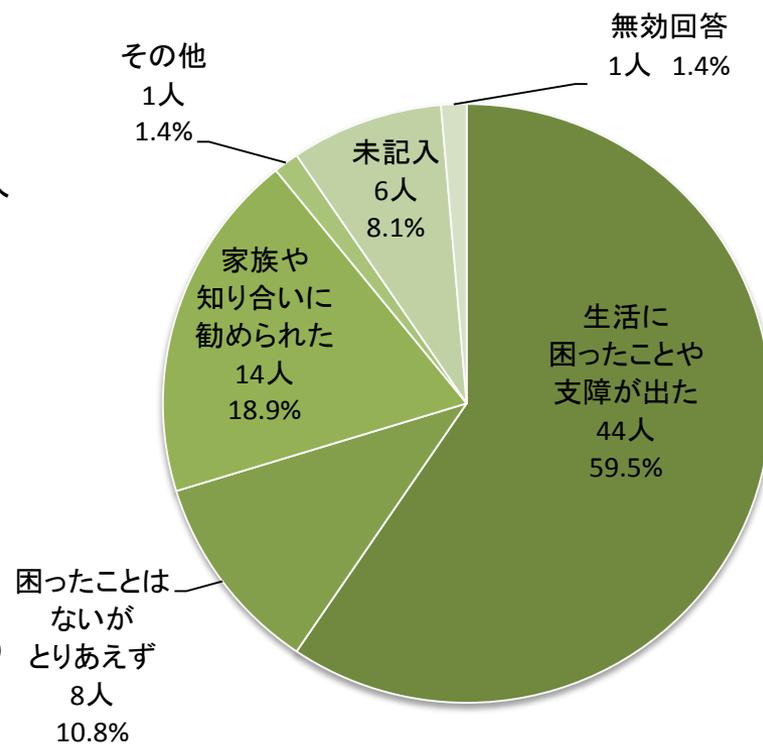
# 松浪地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 松浪地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定の割合は、市域全体と比べて「要支援1」がやや高く、「要支援2」がやや低い。(問5)
- サービス利用の有無は、市域全体と比べて「利用している」割合がやや低く、「利用していない」割合がやや高い。(問6)
- 利用しているサービスは、市域の構成と変わらない。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」が市域と比較して高いが、あわせて「困ったことや支障はないがとりあえず」という回答もやや高い。(問7)

## 《考察》

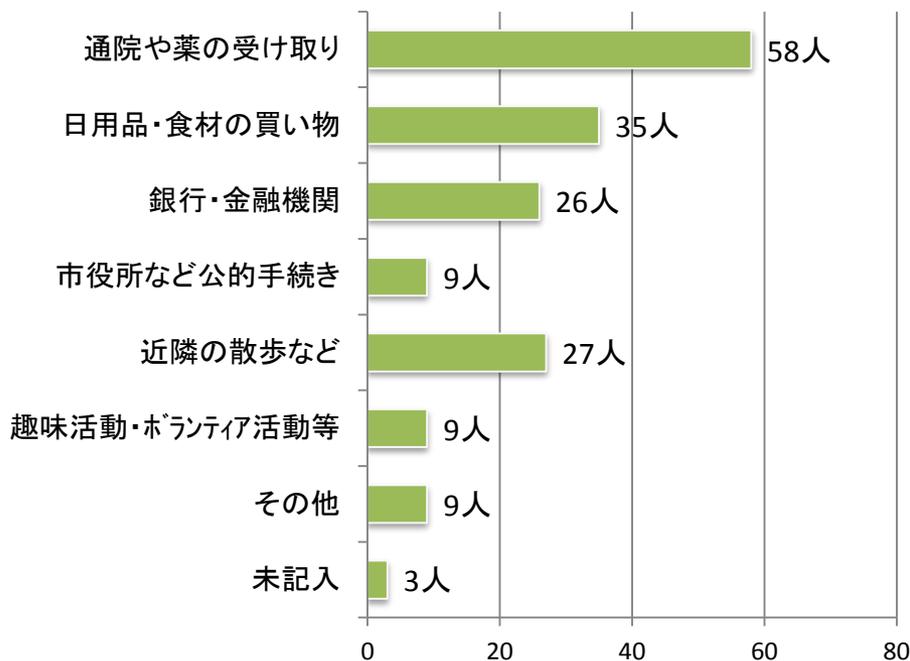
要支援1、サービスを利用していない、困ったことや支障はないという回答数から、認定者の中でも、支援無く生活できる人が一定数おられることが伺える。

# 松浪地区

～外出関連～

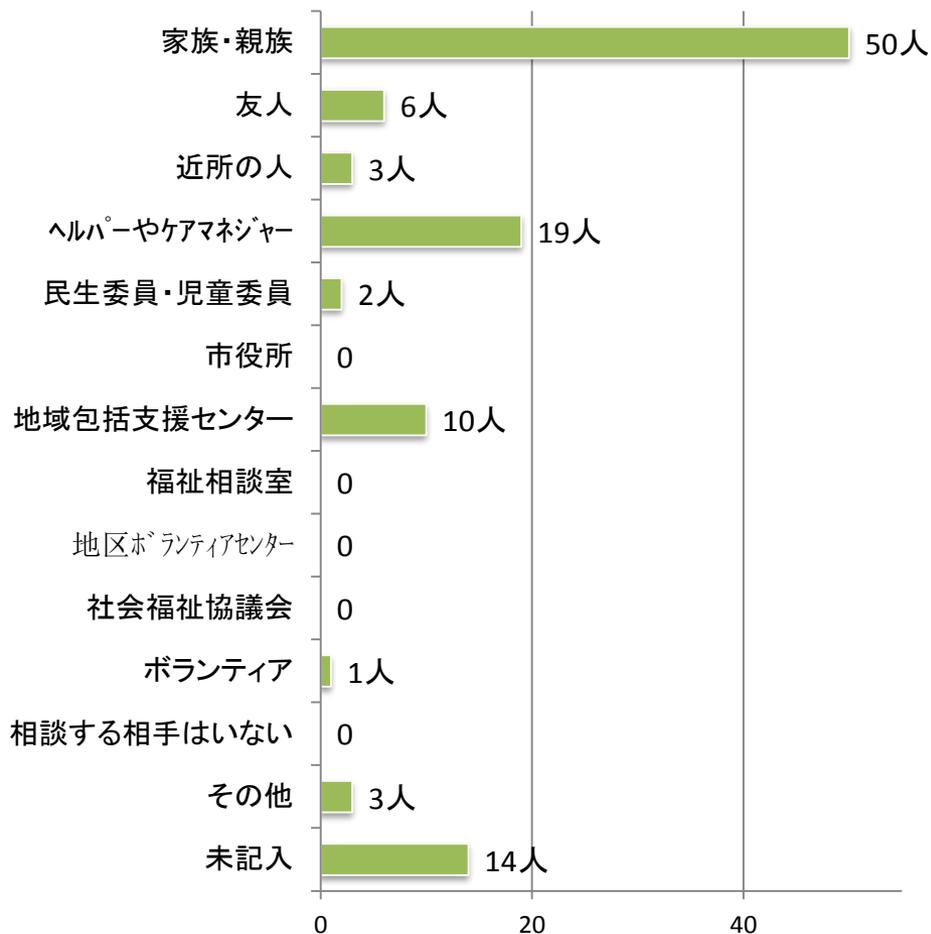
## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他： 横浜、東京、会社、教会  
町内オープンスペース、リハビリ等

## 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 松浪地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段出かけるところの内容は、市域と構成がほぼ同じである。(問8)  
その中で、近隣への散歩がやや多く、市役所など公的手続きがやや少ない。
- 外出についての相談先としては、「家族・親族」と答えた人が50人と圧倒的に多く市域の構成と同様である。「ヘルパーやケアマネジャー」と回答した人も19人で2番目に多いのも市域と同様。「友人」も市域順位と同じだが、「近所の人」が少なかった。「相談する相手はいない」人はいなかった。(問13)

## 《考察》

松浪地区から市役所に行くためには、バスに乗るか、辻堂駅まで出て電車に乗って行くかしなければならないことから、市役所に行くということへのハードルが高い。普段出かけるところとして「市役所など公的手続き」をあげる人がやや低いこととの関連が考えられる。

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計43)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	30
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計43)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		32
3 午後		10
4 夕方(17時以降)		0
未記入		1
無効回答		0
③交通手段 (計59)		1 徒歩
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	16
	7 タクシー	17
	8 福祉タクシー	3
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計92)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくい等)	34
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	5
	6 一人では行かれないので 付添が必要	28
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計30)	未記入	1
	1 家族	28
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- ① 出かける頻度は「月1～2回」が約7割を占めている。
- ③ 交通手段として、「タクシー」「家族等が運転する車」の次に「徒歩」が多い。
- ④ 大変な理由として「体がきつい」が一番多いことと関連があると思われる。通院は大変であるが、月1～2回なので、徒歩で行っているという人がある程度いるものと考えられる。

# 松浪地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	5
	5 その他	3
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	13
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	4
	無効回答	0
③交通手段 (計32)	1 徒歩	8
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	0
	未記入	1

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	16
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- ① 出かける頻度としては「週1回以上」が半数を占めている。
- ③ 交通手段として「家族等が運転する車」の次に「徒歩」が多い。
- ④ 大変な理由として一番多いのが「体がきつい」、二番目が「一人では行かないので付添が必要」であることから、体がきつくて大変だが一人で徒歩で買い物に行っている人と、一人では行かないので家族の運転する車で買い物に行っている人との二分されると考えられる。

# 松浪地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計19)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	13
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計19)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		13
3 午後		4
4 夕方(17時以降)		0
未記入		2
無効回答		0
③交通手段 (計28)	1 徒歩	2
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計42)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	13
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計16)	未記入	0
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

- ③ 交通手段の「徒歩」が通院、買い物と比較して少ない。  
徒歩圏内に銀行、金融機関が少ないことが大きな要因であると考えられる。

# 松浪地区

## 《全体考察》

- 大変な外出として「通院・薬の受け取り」をあげる人が多く、他の項目は数が少なかった。
- 参考資料のグラフを見ると、「買い物」は大変な外出の3位としてあがってはいるが、  
他地区に比べ回答数は一番少なかった。地区内に商店街やスーパー(たまや)、ドラッグストア(クリエイト)があることが要因ではないかと思われる。
- 地形がほぼ平坦であることから、通院・買い物に徒歩で行く人が一定数存在する。
- 他地区との比較で差が見られたのは、外出頻度である。どの行き先の表を見ても「週に1回」の人が少なく、「月に1~2回」程度の人が多い。「日用品・食材等の買い物」に週1回以上出かける人が約半数であったため意外に多く感じたが、他地区と比較したところ「週4回以上」行く人が多かった。外出回数の多い人と少ない人に差があるのではないかと思われる。

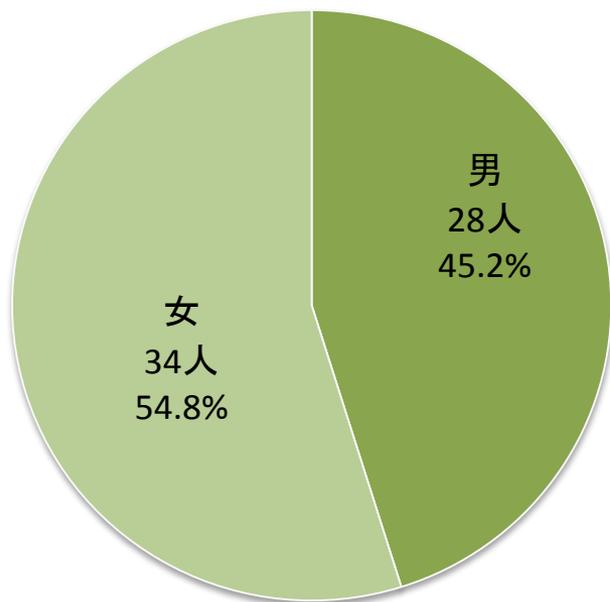


# 浜須賀地区

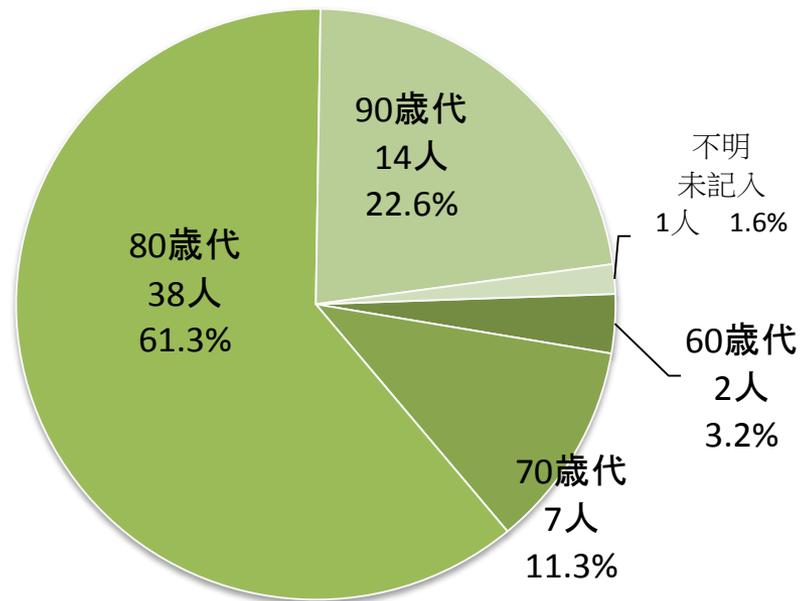
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



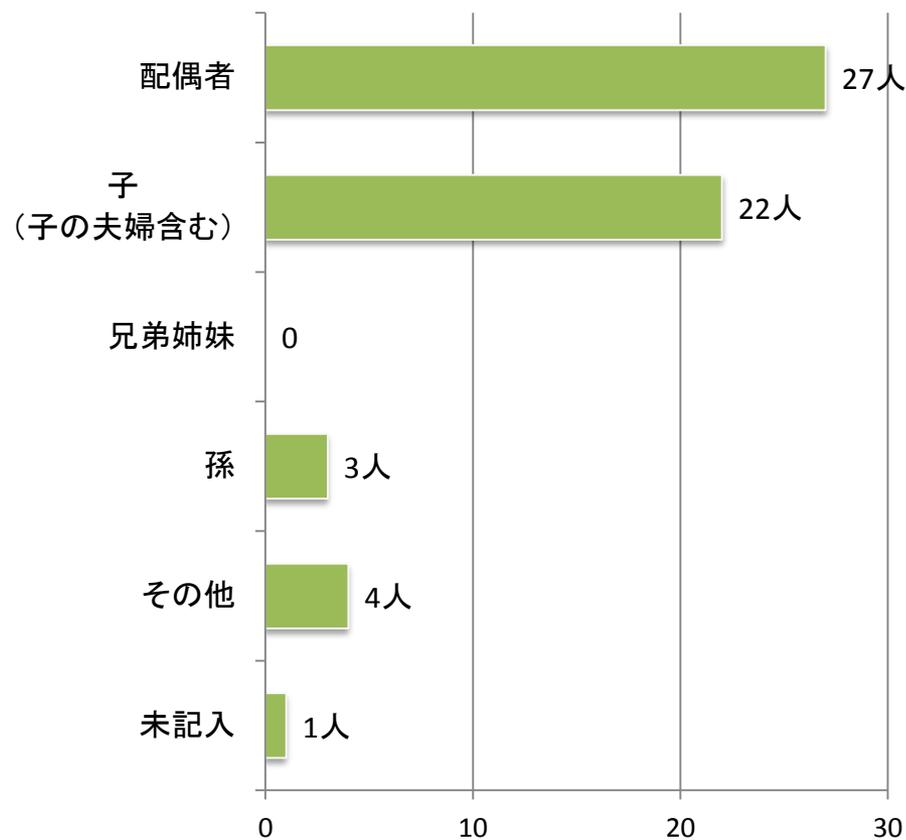
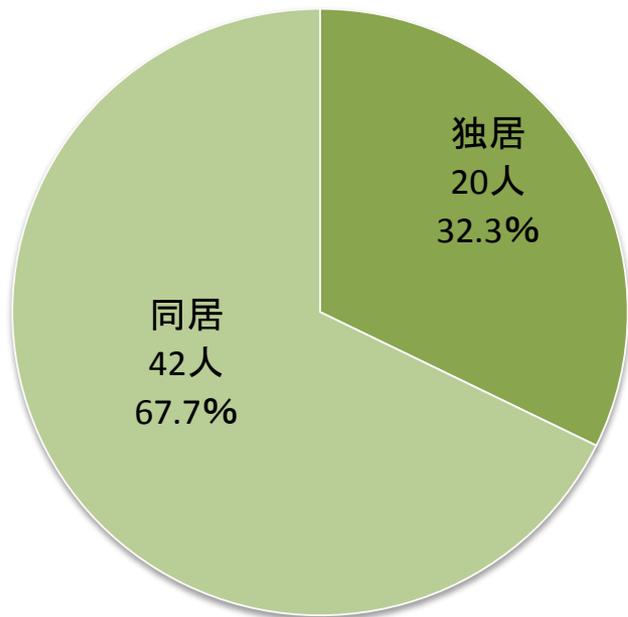
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 浜須賀地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 浜須賀地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 要支援の認定であるが、年齢は80代から大きく認定者が増加する。(問3)
- 「独居」の率が32.3%。同居でも「配偶者」と同居が27人と、高齢者のみ世帯も多いと想定される。一方、「子」と同居の回答も22人と低くない結果となっている。  
(問3・4)

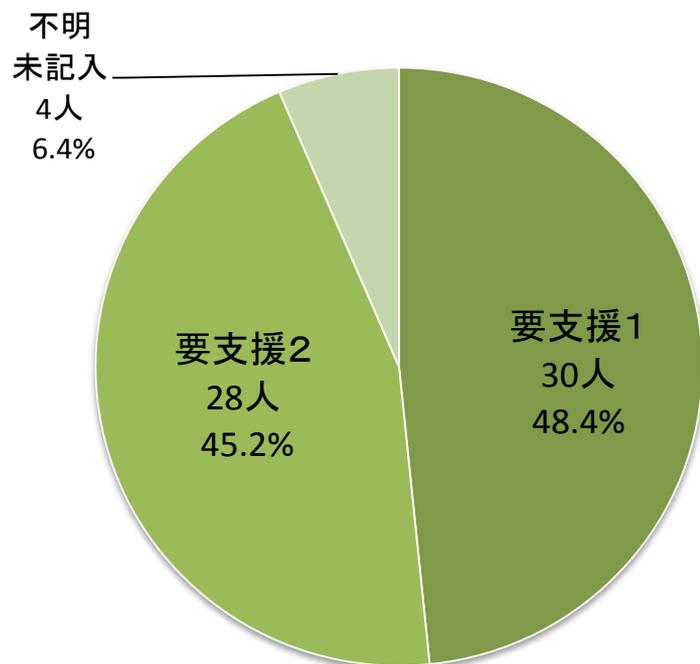
## 《考察》

- 80歳代までは比較的元気で過ごせているのか、介護保険申請が少ないよううかがえる。
- 同居等の状況で上記の結果だけを見ると、高齢世帯の割合は多いが、家族からの支援を得やすい環境にいると思われる人も5割近くいることになる。

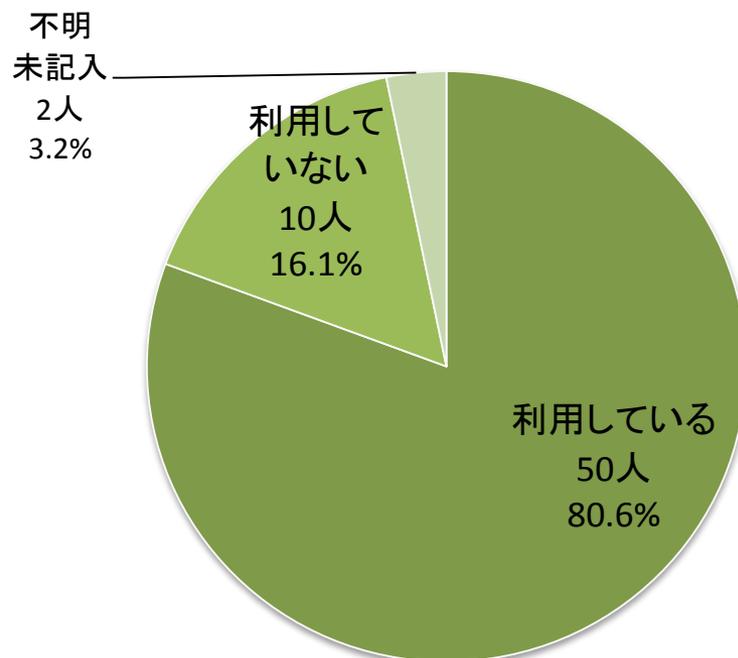
# 浜須賀地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



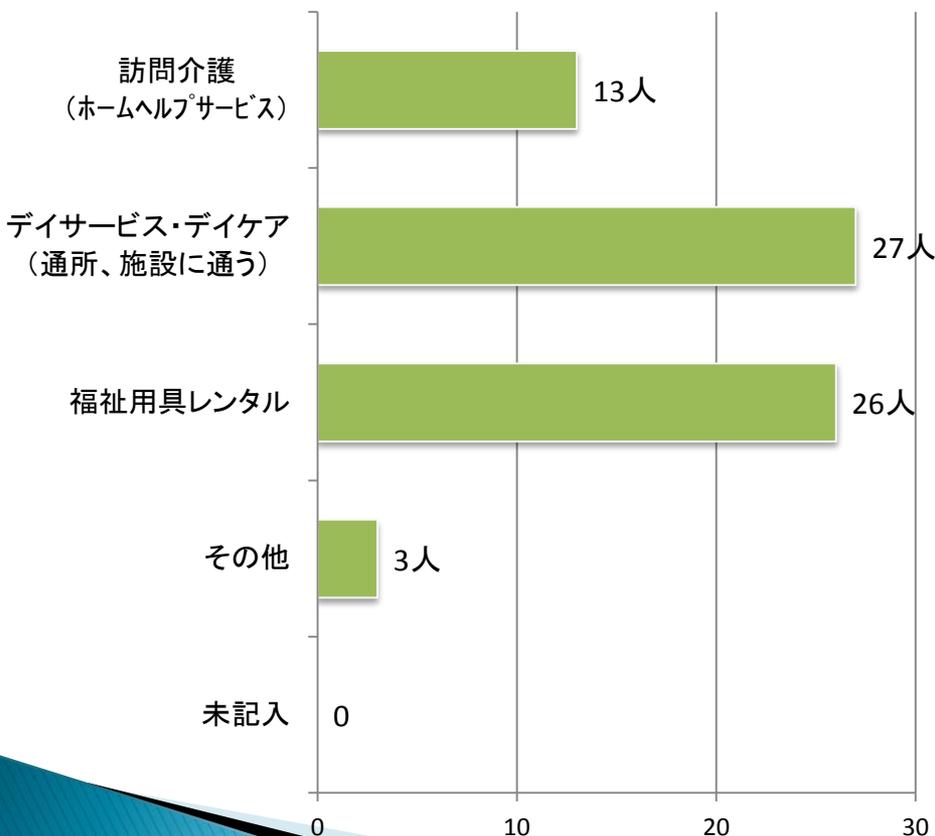
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



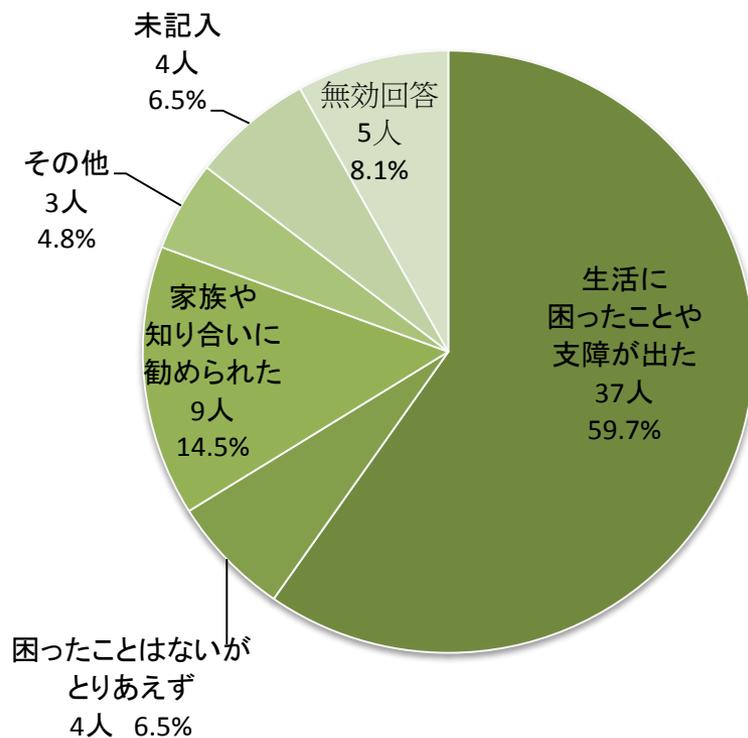
# 浜須賀地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 浜須賀地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 市域での結果とほぼ同様。介護保険サービスの利用率は80.6%と高いほうと思われる。(問5・問6)
- 申請理由が「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」の回答が一番多い。(問7)

## 《考察》

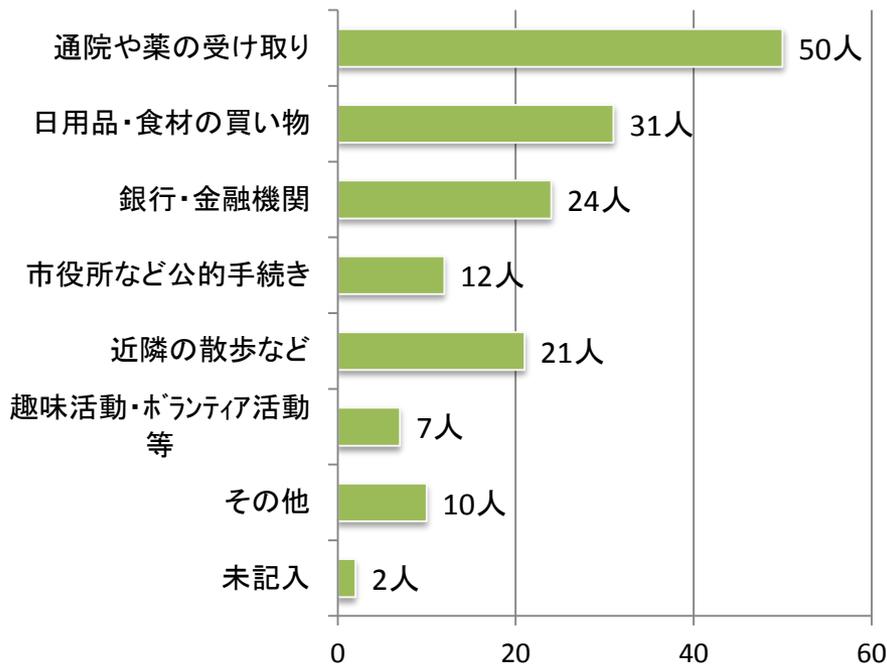
- サービスの利用率が比較的高いことと、前段の同居等の状況をあわせて考えると、子と同居する世帯も少なくないものの、日中独居など日常の支援が思うようには得られていない世帯も多くあるのではないかとと思われる。

# 浜須賀地区

～外出関連～

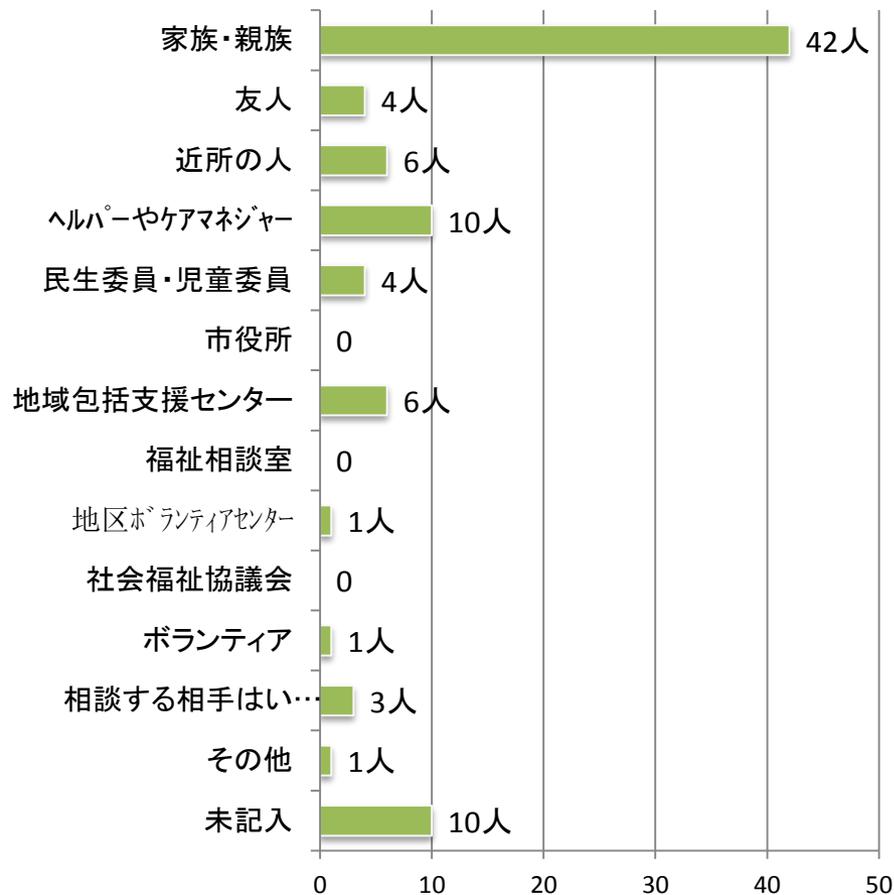
## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他：友人と食事、夫の通院付添い、床屋、接客(自営業)

## 問13 外出について困ったことがある時など誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 浜須賀地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 外出先の分布は市域とほぼ同様。(問8)
- 相談先も市域同様「家族」が一番多い。ほか、「近所の人」を頼ることもうかがえる。  
(問13)

## 《考察》

- 外出先の回答に、「近隣の散歩等」、「趣味・ボランティア活動等」も少なくない割合で出ているように思われる。また、「その他」の内容としても友人との食事や床屋、自営業の接客などと比較的活動的な回答が見られ、要支援の認定者でも活動性の高い人も少なくないことがうかがえる。
- 相談先としては「家族」が多いが、前項にある同居の状況等から、同居者の多くは「配偶者」であり、高齢夫婦間での相談・やりくりも多いとみられる。

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	5
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	12
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	25
	3 午後	6
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
	③交通手段 (計54)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		10
4 施設・店舗の無料バス		4
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		11
7 タクシー		11
8 福祉タクシー		1
9 その他		2
未記入		2

④大変な理由 (計70)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	25
	4 交通費が負担	5
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	1
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人)

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 頻度を見ると、単独では「月に1～2回」が、「週に1回」以上に回答した合計は多く、通院等は全体に頻度が高い様子。
- 手段では、「徒歩」、「バス」、「家族等が運転する車」、「タクシー」が多くある。
- 大変な理由は、「体がきつい」が非常に多く、次いで「1人では行かれないため付添が必要」、「距離が遠い」が多くある。
- 地区内および隣接する地区(松浪方面)は開業医が比較的点在しているため、「徒歩」や「バス」を利用できる人の通院は、比較的頻度が高くても、地区近隣で可能と思われる。
- 「距離が遠い」と感じる人、車や付添で行かなくてはならない人は、月1～2回程度の頻度で、地区を出た総合病院等への受診かと推察する。また、開業医等は概ねは鉄砲道やラチエン通りに近いところに集まる傾向がある。鉄砲道以南は高齢化しており、通院等の活動に不便を感じていることが多いという話が地区内でも聞かれ、後者に属する可能性が高いと思われる。

# 浜須賀地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	10
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	8
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		14
3 午後		7
4 夕方(17時以降)		0
未記入		2
無効回答		0
③交通手段 (計39)	1 徒歩	11
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計42)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	8
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計9)	未記入	0
	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人)

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 頻度は、「週に2～3回」と「月に1～2回」が多くあり。
- 手段は通院と同様に「徒歩」が多くあり。次いで「家族等が運転する車」「タクシー」と続いている。
- 大変な理由としては、「体がきつい」が一番、次いで「距離が遠い」「1人では行かないので付添が必要」が続く。
- 地区内は平坦地のため、足腰に支障が少ない人は徒歩での移動もしやすい(起伏のある地区と比べて)ものと推察される。地区内の往来も徒歩または自転車利用を多く目にする。また、食材等の買い物に利用できるスーパー、ドラッグストアなども複数あるが、概ね鉄砲道、ラチエン通りに近い所に集まる傾向がある。
- これらから、店のある通りに近い人は主に徒歩で週に数回、店のある通りから離れている人は、家族等の運転する車を利用するなどして月に1～2回程度買い物に出かけるといった分布と推察する。特に、鉄砲道以南の住民は、買い物通院等に不便を感じていることが多いといった話が地区内でも聞かれ、後者に属する可能性が高いと思われる。

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	14
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計37)	1 徒歩	6
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	10
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計44)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	1

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人)

# 浜須賀地区

## 《考察》

- 頻度は他よりも「月に1～2回」が多く、日常的にさほど頻度の高い外出先でないことがうかがえる。
- 手段は「バス」と「タクシー」が同程度、次いで「徒歩」があがっている。「徒歩」は、通院や買い物では多くあがる手段であったが、銀行では少ない。
- 大変な理由は他と同様の傾向である。
- 概ねは鉄砲道やラチエン通り近くに集まっているものの、スーパーや開業医は比較的あるほう。だが、郵便局以外の金融機関でみると、桜道(信用金庫)まで出るか、辻堂駅周辺、茅ヶ崎駅周辺へ行かないと実店舗はない。
- これらから、金融機関での手続きは駅前へ出ることが多いと想定され、駅までの定時ルートが確保されている「バス」、もしくは足腰の厳しい人は「タクシー」の利用が多くあがったものと思われる。
- このほか浜須賀地区は、市域の結果と違い「銀行・金融機関」よりも「市役所など公的手続き」が大変な外出先の3位にあがる結果となっている。市役所には国道一号線を超えるためか、実質・心理的ともに距離を感じる外出先となるように思われる。

# 浜須賀地区

## 《全体考察》

- 同居等の状況やサービス利用率などをあわせて見ると、子と同居の世帯も少なくないものの、日中独居など日常の支援が思うようには得られていない世帯も多くあると推察される。近年は、  
広い家屋敷が(分割・分譲)売却されるほか、空き地・空き家も増えている。残るのは高齢者が多く、独居高齢者も増える傾向にある。
- 交通については、茅ヶ崎駅南口、辻堂駅南口の間を横に通るバスが地区内の主線。平坦地のため、足腰に支障がなければ徒歩・自転車で移動する人は多く見られ、今回の調査でもその傾向はうかがえる。
- 開業医、スーパー等の生活施設も複数あるが、鉄砲道以北、ラチエン通り周辺に集まる傾向。自転車ではさほど不便でなくても、徒歩移動には距離のある人も少なくない。地区内でも特に鉄砲道以南は、生活活動に不便が想定されるエリアとなる。民生委員や地域包括支援センターからも独居が増えているとの話が聞かれ、海側に行くほど生活に必要な社会資源が少ない。地区を縦に走る公共路線がほとんどなく、徒歩・自転車移動が難しいとタクシー利用などの経済的な余力や、親族等の人的支援がない世帯ほど負担感が大きくなり、他の課題も含め支援対象となることが想定される。
- 相談先について、少ないが「相談する相手はいない」と回答した人があり、相談につながるような周知が必要と考える。地区の会議でも、「無駄も含め必要な情報は繰り返しの周知が必要」、「今は必要でなくても、必要時に情報を得られるルートを作っておくことが必要」との声が出ている。

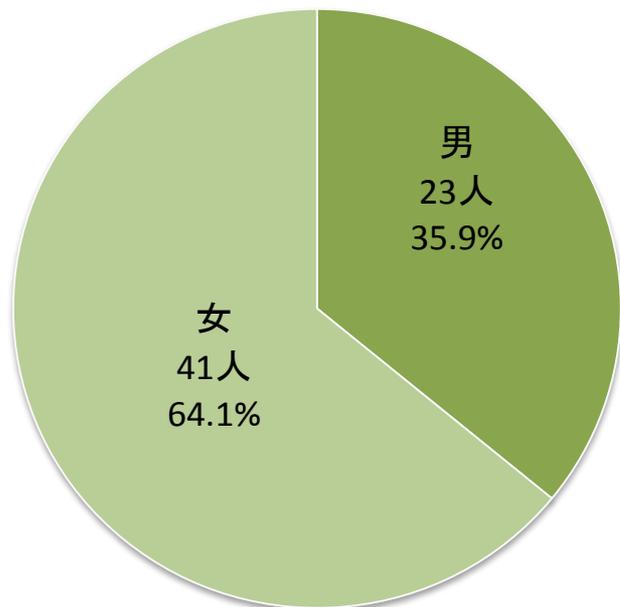


# 小出地区

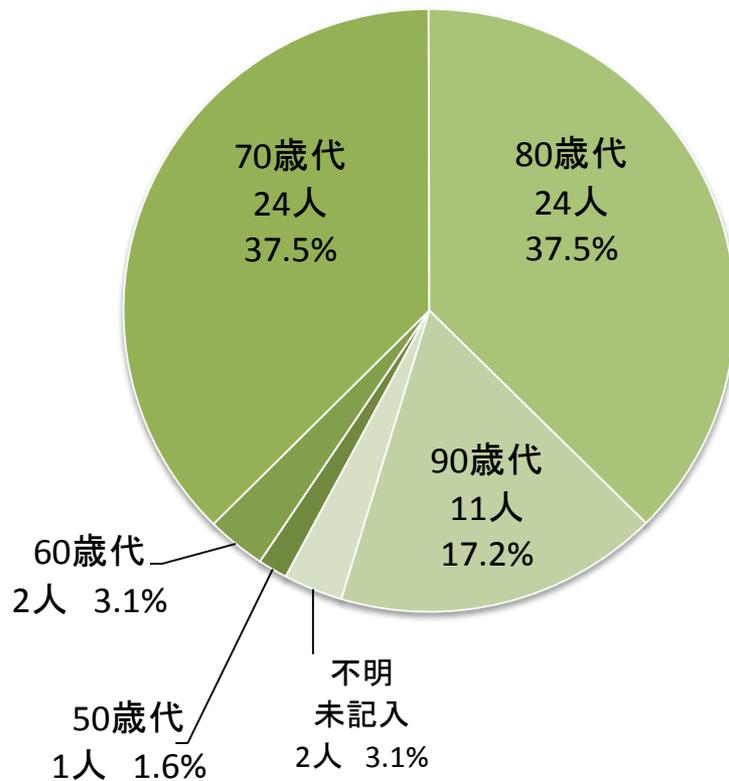
【回答数：64人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



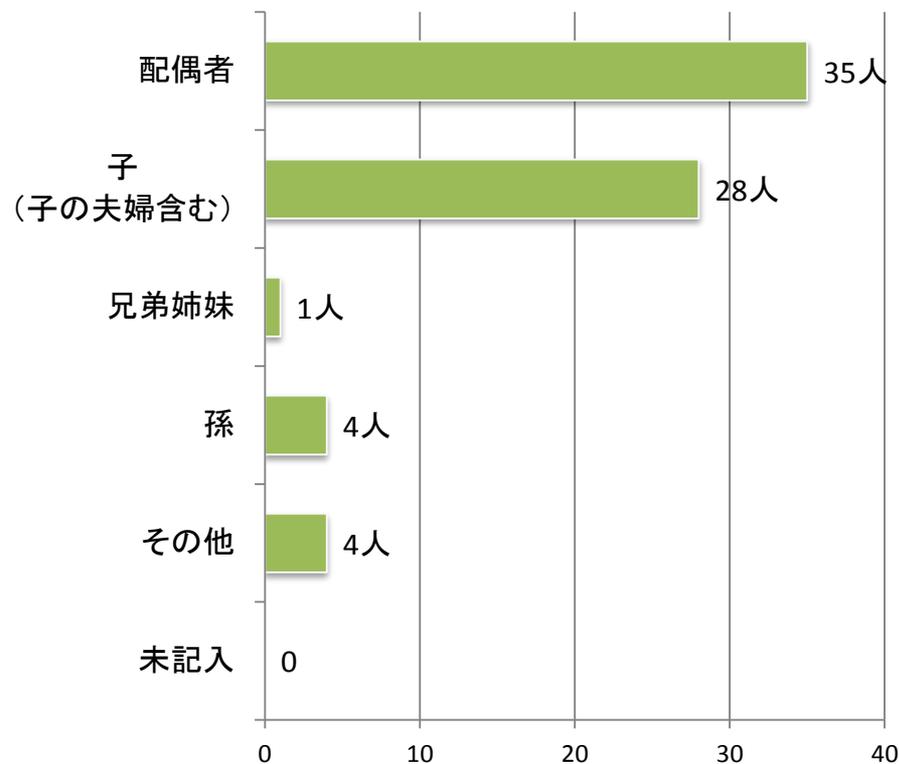
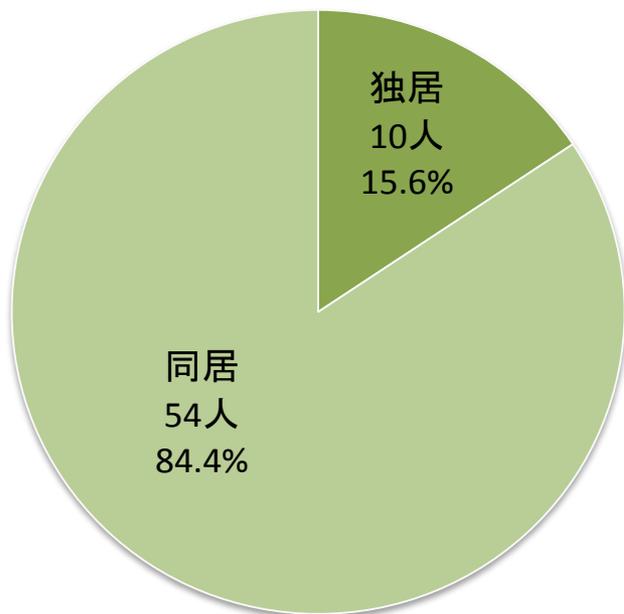
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 小出地区

～基本項目～

## 問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 小出地区

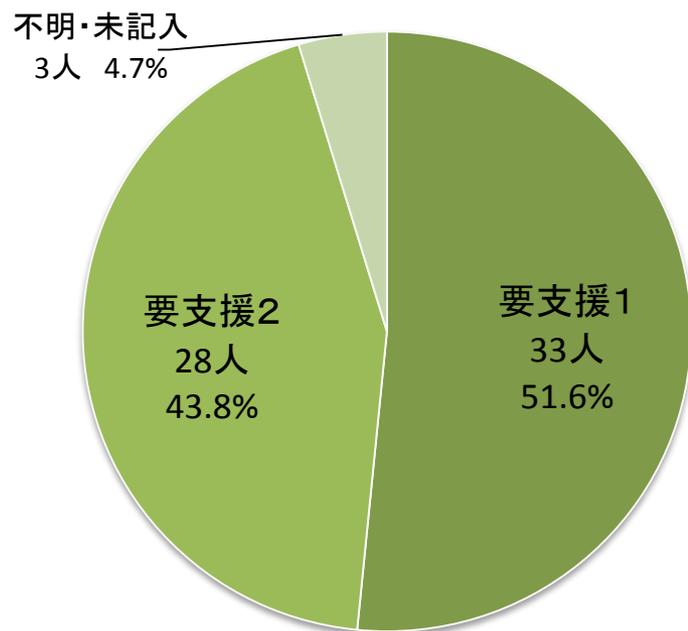
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域全体の数値と比較して、回答者の性別「女性」が64%と9%高い。(問2)
- 回答者年代は、市域80代48.8%⇒小出37.5%、市域70代24.5%⇒小出37.5% との違いがみられる。その他の90代、60代、50代などは大きな違いはみられない。(問3)
- 小出地区の女性高齢者で要支援の認定を受けている方は、市域全体と比較して70代の割合が多い。

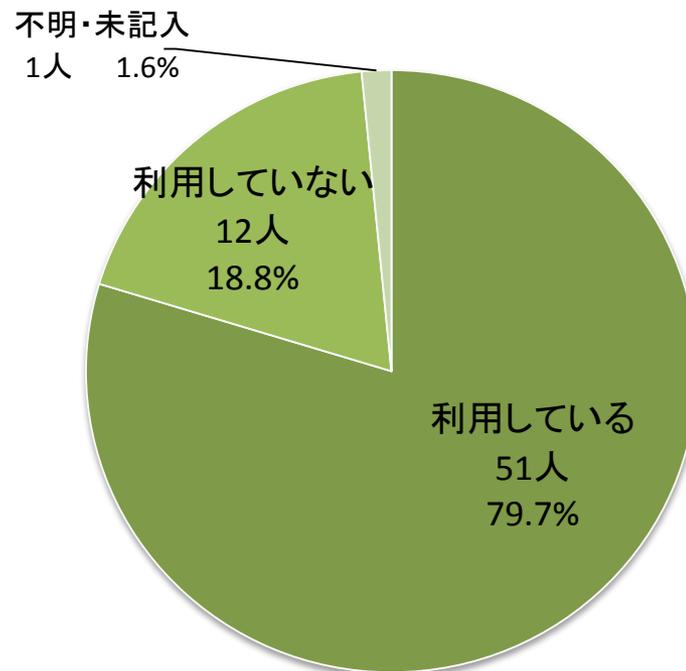
# 小出地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



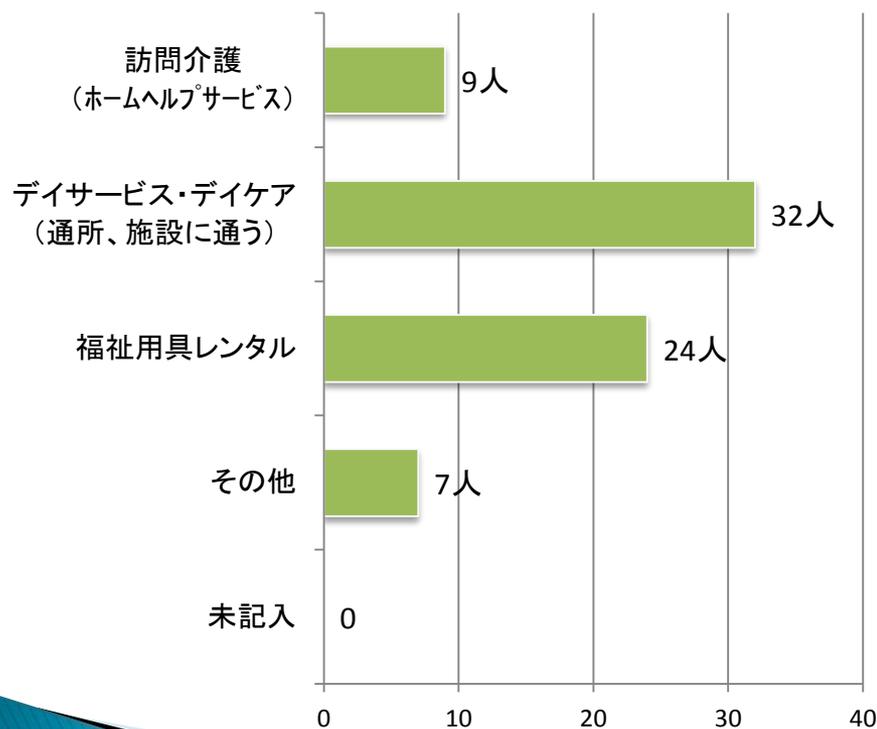
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



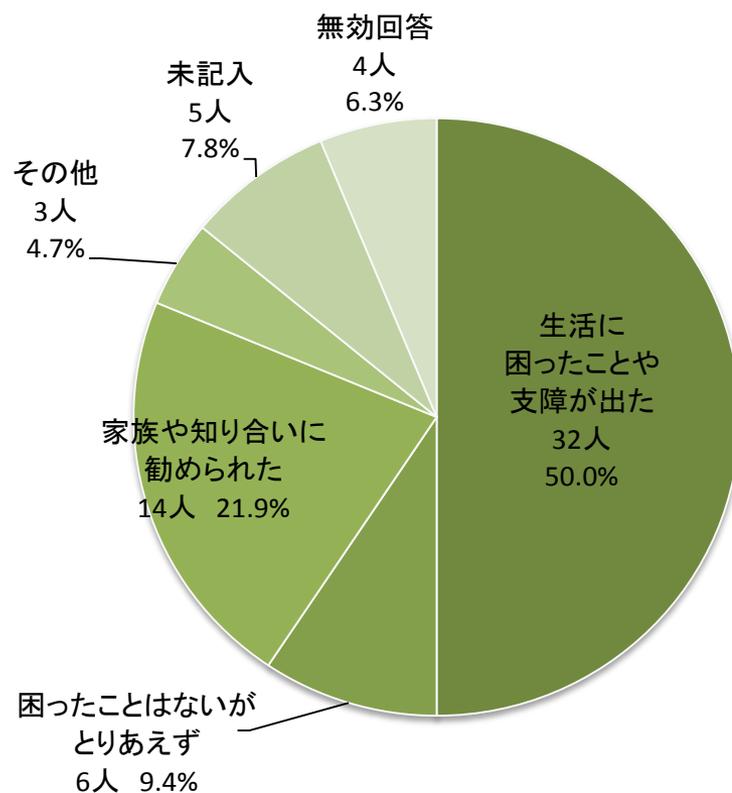
# 小出地区

## ～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 小出地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

○ 要支援1(51.6%)が要支援2(43.8%)より多いが数字の開きは少ない。市域とも大きく変わらない。(問5)

《考察》

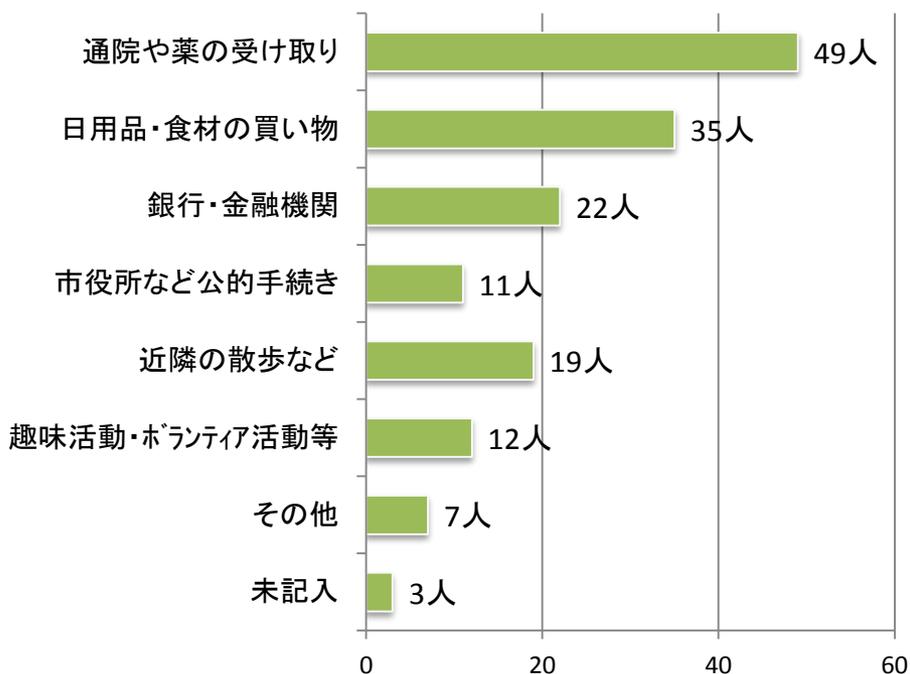
上記以外に市域全体の数字と大きな違いのあるものはなかった。  
このような設問においては、地域特性が大きく影響するものではないのかと思われる。

# 小出地区

## ～外出関連～

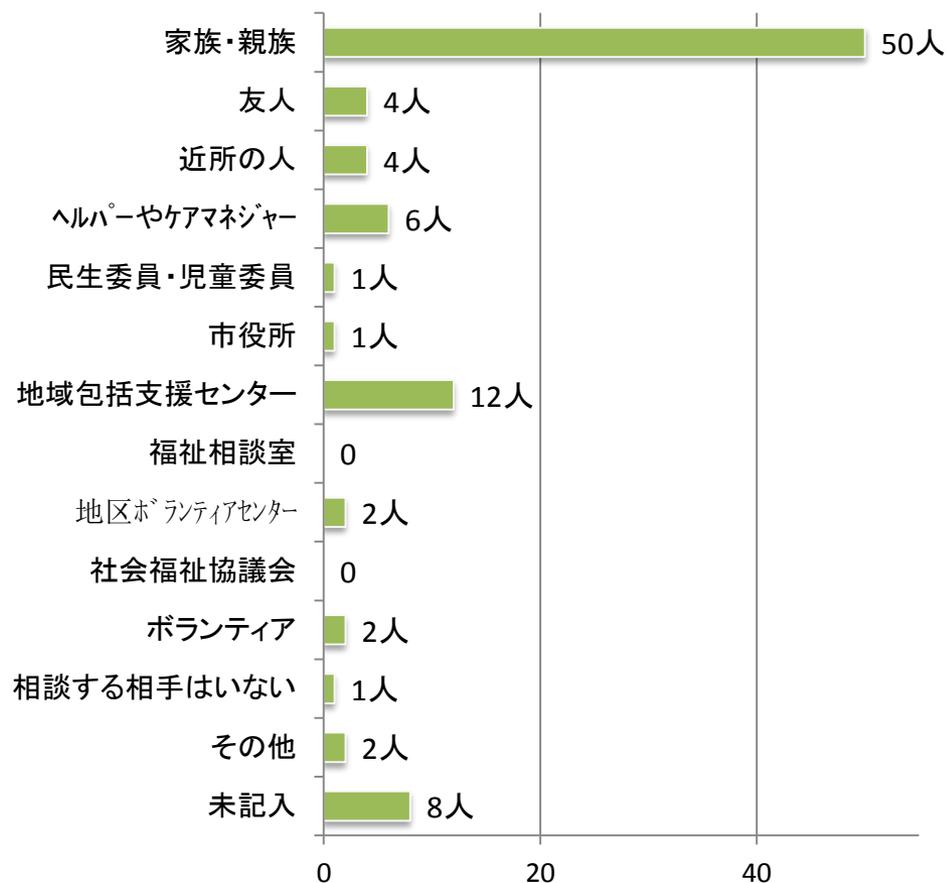
### 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他：友人と会う、会社、  
デイサービス等

### 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 小出地区

## ≪外出関連 問8・問13について 市全域との比較≫

- 市域全体の回答と類似している。外出先の傾向も類似しており、小出特有のという形ではなかった。(問8)
- 相談先も、市域全体としては「家族・親族」回答が569人で全体の約半数を占めているため、小出と変わらず。次点以降の相談先も「地域包括支援センター」「ヘルパーやケアマネジャー」、「友人」、「近所の人」が挙げられていて、市域全体の構成と比較してほとんど変わらない。(問13)

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計32)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	23
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計32)	1 早朝（8時以前）	2
	2 午前中	26
	3 午後	3
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	0
	無効回答	1
	③交通手段 (計51)	1 徒歩
2 自転車		1
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		8
4 施設・店舗の無料バス		4
5 自分で運転する車		4
6 家族等が運転する車		17
7 タクシー		8
8 福祉タクシー		0
9 その他		4
未記入		0

④大変な理由 (計77)	1 距離が遠い	17
	2 交通が不便	15
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	0
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	7
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計18)	未記入	1
	1 家族	17
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	1	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 地区の特性として、地区内にバス停留所が多くないため、停留所まで行くことに大変さがあるものと思われる。そのため、④で「体がきつい」、「一人では行かない」と回答された人の中には、病院に行くことの前段として「停留所へ行くことが困難」な人が複数いるものと考えられる。
- ③で「家族等が運転する車」で通院する人が多いのは、それに代わる利便性の高い移動手段がないためだと推察される。「距離が遠い」、「交通が不便」という④の回答も多い。市立病院や総合病院などに通院が必要な人も多数いるものと思定されるが、  
路線バスは乗り換えもあるため、その利便性の低さに起因する回答と思われる。③で「バス」と回答した7名のバスの種別(路線・えぼし号・予約乗合)の内訳がわかれば、さらに考察の材料となると思う。

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計29)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	8
	4 月に1～2回	8
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計29)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	18
	3 午後	10
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	1
③交通手段 (計42)	1 徒歩	10
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	10
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	4
	6 家族等が運転する車	11
	7 タクシー	3
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計63)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	13
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	8
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 地区の人の買い物の希望先(店舗)としては、イオン(茅ヶ崎中央店、大庭、旧サティ)、とうきゅう、マムという声をよく耳にする。店舗によるが、住むところから片道で遠いところは9<sup>キ</sup>程度となるため、多くは「徒歩」で行くことは大変さが生じていると考える。
- 一部の地域、例えば下寺尾の南側はマムに近く、湘南ライフタウンB地区はとうきゅうに近いので、「徒歩」で行ける人もそれなりにいるものと思われる。
- 「徒歩」で出かける人の中には、地元の商店(飯島食料品店など)での買い物を想定して回答した人もいと推察される。
- 大型の店舗で買い物を希望する人が、「距離が遠い」、「交通が不便」といった理由により「家族等が運転する車」で行っているものと思われる。大型の店舗に行った場合は、帰りの荷物のこともあり、一人だと持ち帰れない等の懸念もあるため「一人で行かない」と回答された人もいるように考える。

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計24)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	18
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計24)	1 早朝(8時以前)	2
	2 午前中	15
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計34)	1 徒歩	5
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	3
	6 家族等が運転する車	12
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計63)	1 距離が遠い	11
	2 交通が不便	11
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	10
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計13)	未記入	1
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	3	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

- 銀行・金融機関での手続きの場合、うちよ銀行や農協を除いて、メガバンクや地方銀行は茅ヶ崎駅、辻堂駅など駅前に行かなくてはならない。そのような人が③で「徒歩」以外を選択していると思われるが、路線バスは停留所までの距離の問題があるため、多くの人々が「家族等が運転する車」によって外出されているのだと考える。
- 地域住民からの声に聞かれるが、『予約型乗合バス・コミバスの運行区域内では、銀行などの金融機関の用事が果たせない』ために、目的によっては不便さが如実にでるものと推察される。また、小出は茅ヶ崎北部の丘陵地帯に位置し山坂が多く、七曲りや一部道路に整備が不十分なところもあるため、④で「歩くには道が悪い」に回答された人が多くいたのだと思われる。

# 小出地区

## ≪全体考察≫

- 小出地区の代表的な特性としては、
  - ①13地区で最も大きな面積を有している(市の5分の1)
  - ②高齢化率が37.16%あり、13地区で最も高い(2019.1/1現在) ということがある。基本情報(問2～問8)においては市域全体との大きな差が見られない事と、地区が広い面積を有し字ごとにも特性があるものと考えれば、ある意味では茅ヶ崎市の縮図になっていると推察される。例えば、小出中央通り沿いの小出銀座商店街区域と、芹沢細紺の区域では、「小出地区」と一括りには出来ないような地域差(外出・移動に関する課題)が現れるものとする。
- 小出地区は茅ヶ崎北部の丘陵地帯に位置しているため、総合病院への通院、金融機関の手続き、品揃えが豊富なスーパーに行く際には、一部を除いた多くの方は車でも片道30分程度かかってしまう。バス等であればそれ以上時間がかかるが、地区内では済まない用事も多く、駅方面に外出する必要性は誰しもあると思われる。その時に大変さを感じる人が多く存在して、誰かの支援がないことには目的を果たせない状況が見られた。
- 従来から地区では住民の足に関わる課題があったが、この調査を通して「交通が不便」、「買い物がしにくい」という大きな課題が改めて浮き彫りになったように思う。地区に根差している地域活動組織も外出・移動の課題は把握しており、予約型乗合バスやコミバスの利便性向上、道路環境の整備にむけた活動をされており、住民の関心が高い事柄として取り扱われている。

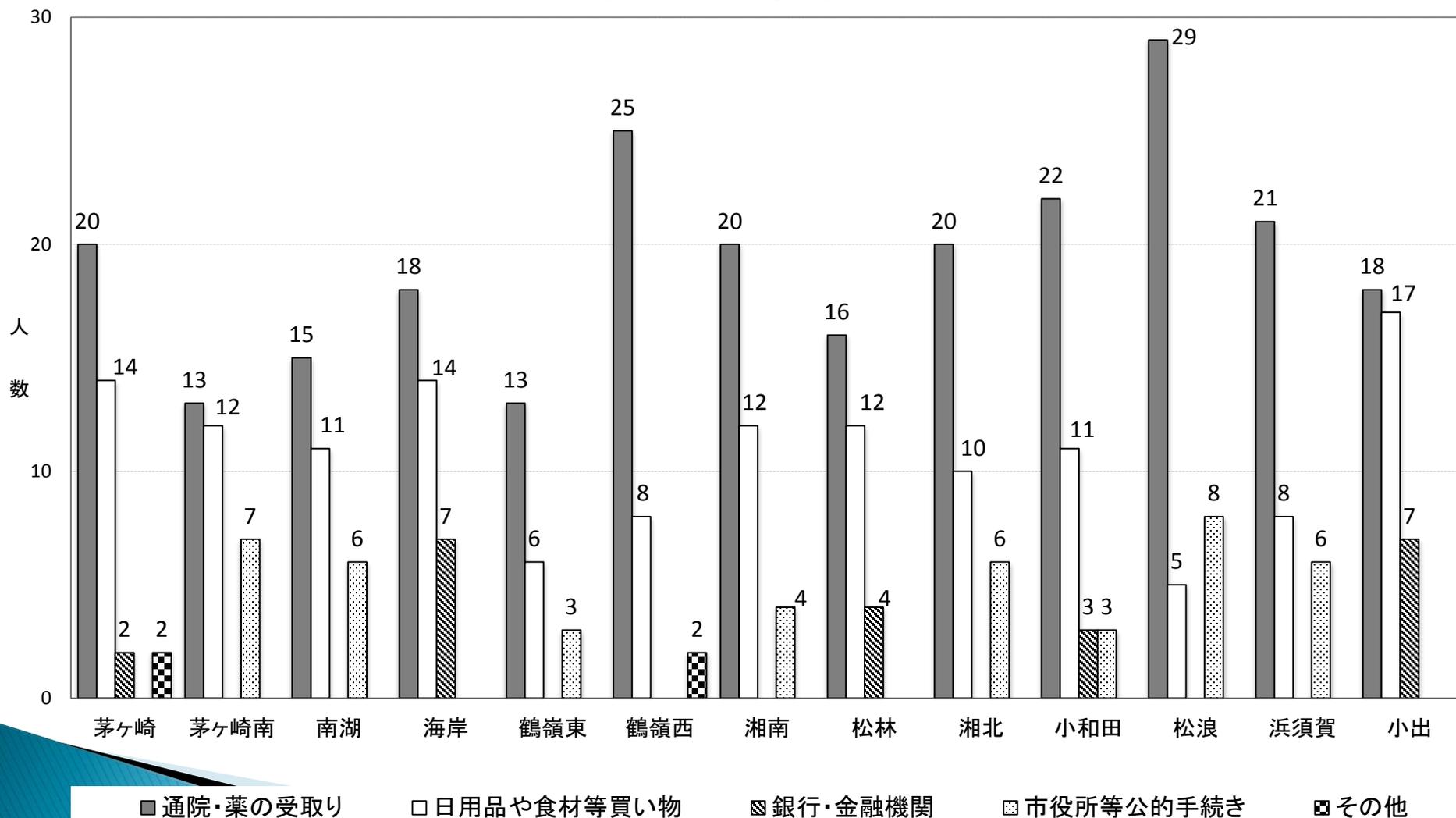


<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

### 参考資料① 「特に大変と感じる外出」は？ 上位3つ -地区別-

\*各地区で特に大変とされた1～3位の回答の比較\*

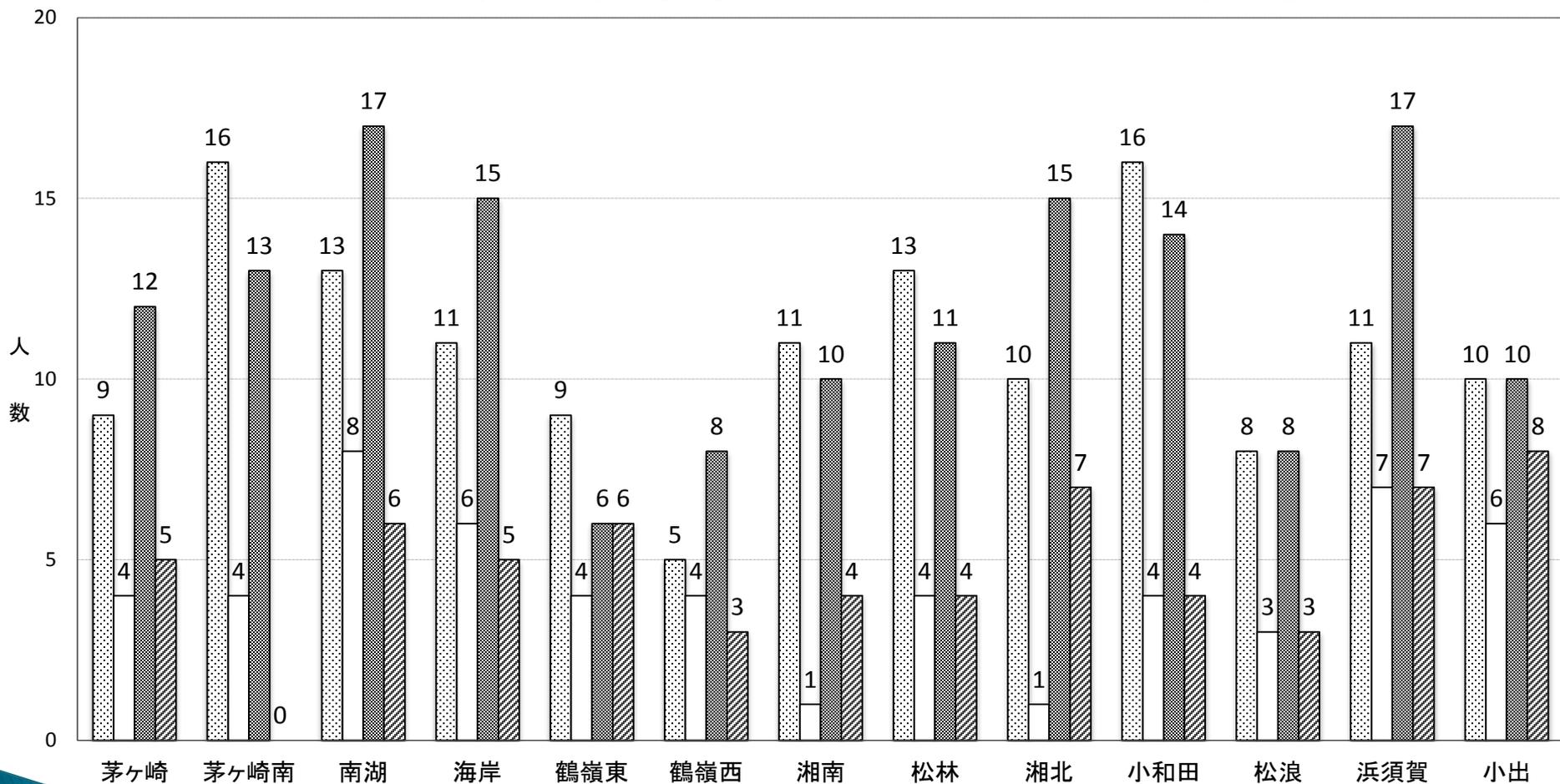


<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

参考資料②-1 「特に大変と感じる外出」の手段は？ 一週1回以上行く人

\*各地区で特に大変と感じる外出先で回答のあった利用手段の比較\* (複数回答)



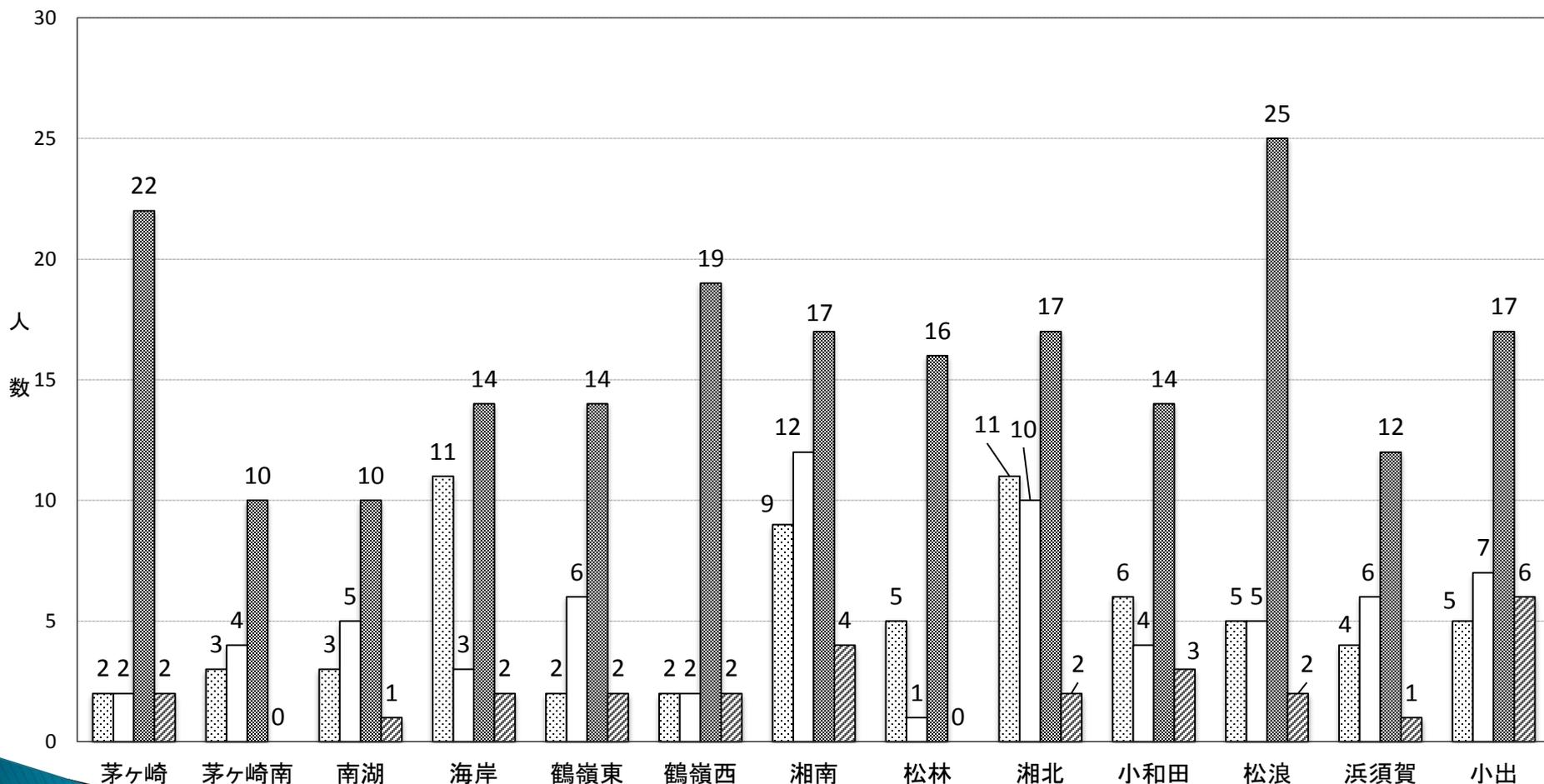
■ 徒歩・自転車 □ バス(路線・コミュニティバス) ■ 車(タクシー・福祉タクシー・家族運転の車) ▨ その他(店舗バス・自分運転の車・その他)

<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

参考資料②-2 「特に大変と感じる外出」の手段は？ 一月1, 2回程度行く人

\*各地区で特に大変と感じる外出先で回答のあった利用手段の比較\* (複数回答)



徒歩・自転車
  バス (路線・コミュニティバス)
  車 (タクシー・福祉タクシー・家族運転の車)
  その他 (店舗バス・自分運転の車・その他)

<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

参考資料③ 「特に大変と感じる外出」1位(通院・薬の受け取り)の手段は？

\* 市域全体で特に大変と感じる外出である「通院・薬の受け取り」に利用される手段の比較\* (複数回答)

